

台湾新聞

TAIWAN NEWS ◆ 2023年11月6日号 東京発行 NO.318

発行元: 株式会社 台湾新聞社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4 TEL: 03-5917-0045 FAX: 03-5917-0047 E-mail: info@taiwannews.jp 台湾代表處 新北市林口區文化二路一段266號B1-8 TEL: 02-2608-6177
■定期購読をご希望の方は台湾新聞社までお問い合わせ下さい。 定価 350円(税込) 定期購読 12回: 3,500円(税込) /NT.1,000日本全国9都市10空港より台湾へ
定期便最大週118往復を運航!2023年10月29日より 成田-台北線(CI109/108)が毎日運航で増強しました!
更に、12月から熊本-台北線が運航へ増強。2024年1月から那覇-台北線が運航へ増強
および那覇-台北線(CI129/128)2週、沖縄-台北線(CI123/122-週4回)、沖縄-高雄線(CI133/132-週3回)、
2月から那覇-高雄線(CI167/166-週3回)がそれぞれ運航いたします!
最新スケジュール-お問合わせ窓口はチャット エアラインの公式サイトから
www.china-airlines.com/jp/jp CHINA AIRLINES

蔡総統が最後の国慶日演説 「两岸の対立は平和的な方式で解決」



蔡英文総統と賴清徳副総統(写真:中央社)



東農大三高吹奏楽部の演出(写真:中央社)



招待されるアジア大会選手団(写真:中央社)



空軍のパフォーマンス(写真:中央社)

蔡英文総統は10月10日午前、台湾総統府前で行われた双十節祝賀式典で「自信ある深沈たる態度で国家を前に進める 世界は台湾によってより良くなる」と題する演説を行った。

来年5月に退任する蔡総統にとって最後の双十節演説。蔡総統はまず、3年間を経て遂にマスクを外せたと発言。次いで蔡総統は「わざわざ来られた僑胞(海外台湾人のこと)と国際友人の出席を歓迎する」とし、来場のゲストらに挨拶した。

蔡総統は「私たちは3年をかけて新型コロナと戦いさらに、もう一つ30年もかかった戦がある」とし、台湾の「潜水艦の国産化」計画の完成品として9月に進水式が行われた潜水艦「海鯤号」について「我々が掲げた『国防自主』は確実な一歩を進んだ」と述べ、台湾の自由民主を最後まで守っていく決心を訴えた。

また同性婚合法化や軍公務員の年金改革、最低賃金の調整について、蔡総統は「市民の理解と賛成派、反対派が互いに意見を示したものの、改革がうまく成り遂げたことを改めて感謝したい」とし、任期内の政策を振り返った。

さらに2016年の総統選挙に掲げた「社会住宅20万戸」について、蔡総統は「この目標は24

年末に完成できる」とアピールしたほか、この7年間の社会住宅建設が台湾の「居住正義」議題の解決策を称賛し、市民の協力を感謝を述べた。

また、台湾内部が野党を問わず、対外的に団結することを願う考えを示し「台湾の民意の共通認識を基礎とし、対等と尊敬を前提とし、民主主義的対話を過程とし、現状維持を核心として、北京当局と共に双方が受け入れ可能な交流の基礎と平和的共存の道を構築していくことを望む」と述べた。

蔡総統は最後に、自身に2期8年の中華民国総統就任の機会を与えた台湾の人々に感謝

を述べた上で「国家はこれからも前進し続けなければならない」と強調。「われわれは世界により素晴らしい台湾を示すだけでなく、民主主義の台湾によって世界をより良いものにならなければならない」と国民を鼓舞した。

なお、今年の国慶式典の英語表記「Taiwan National Day」を巡り、馬英九前総統や次期総統選に出馬を表明した郭台銘氏は「台湾は独立国家ではない、あくまで中華民国の国慶日だ」と強く非難し、祝賀式典への出席を拒否した。会場外でも対中融派団体が抗議活動を展開し、混乱を招いた。

台中で台湾国慶花火大会が開催



国慶花火大会が台中市で開催(写真:総統府)

中華民国建国112周年を記念して「『民主台湾・堅韌永続』国慶花火大会」が10月10日夜、台湾台中市(盧秀燕市長)で開催された。ジャズ音楽のリズムに合わせて花火が打ち上げられ、また、無人機隊によるパフォーマンスも披露されるなど観客を魅了した。

蔡英文総統は大会の挨拶で「国慶花火大会は9年ぶり、台中市での開催を決めた。こんな素晴らしいイベントを用意した台中市政府に感謝したい」と述べ「台中市がこの数年間に観光スポットの開発に力を注ぎ、その成果が世界中の観光客に注目されました」とした。

また「台湾政府は後コロナ時代の海外観光客勧誘に努めている」と言及し「皆さんの海外友人に、台湾人の熱情や台湾は安全で便利な観光地と伝えてください」と呼びかけた。

盧市長は、同市が2004年より毎年国際ジャズ音楽フェアを開催している事に「今大会は台



蔡英文総統が出席(写真:総統府)

中の代表的な文化であるジャズ音楽を花火大会に取り入れた。今夜一番輝いているのは花火でなく、283万人の台中市民の笑顔だ」と語り、市民に感謝した。

台中市観光旅行局によると、延べ51万人が開催地の台中中央公園に来場。花火大会のほか、台湾金曲獎最優秀賞を受賞した江惠儀さんをはじめ、数組の歌手が演出し、会場の雰囲気をより一層盛り上げたという。

自民萩生田政調会長が訪台 蔡英文総統を表敬訪問

自民党の萩生田光一政調会長が率いる訪問団が10月9日から11日まで台湾を訪れ、台北市の台湾総統府で蔡英文総統を表敬訪問した。中国による台湾への軍事的圧力が強まるのを念頭に、台湾海峡の安定と平和に向け、日台の連携を強化するのが訪問の狙い。昨年12月以降の訪台だった。

安倍氏の銅像に献花

台湾入りした萩生田氏は、まず中国が全面禁輸した日本産水産物の販売促進などについて、台北市内で日系企業関係者と意見交換。

その後台湾立法院を訪れ、游錫堃立法院長主催の夕食会に出席した。10日には総統府前に行われた中華民国台湾建国112周年祝賀式典に列席した。

その後、高雄市にある安倍晋三元首相の銅像に献花した。日本メディアによると、萩生田氏は安倍派の中枢を担い、安倍氏が重視していた「台湾有事は日本有事」の路線の継承を目指している。献花後は記者団に「安倍派は台湾外交を最も重視してきた。しっかり引き継いでいきたい」と語った。

京都橘高校吹奏楽部 12月に再び台湾に



昨年の国慶祝賀式典でパフォーマンスを披露した橘高校(写真:総統府)

台湾の非政府組織(NGO) 中華文化総会は10月19日、昨年の中華民国双十国慶節祝賀式典でパフォーマンスを披露した京都橘高校吹奏楽部が12月に再び台湾を訪れ、台北市立第一女子高校(北一女)の創立120周年記念イベントに出演することを発表した。同総会の李厚慶秘書長は台湾メディアの取材に対し「従来の外交の形だけでなく、生徒同士の純粋なやり取りを交流の新たなモデルにできれば」と期待を寄せた。



安倍氏の銅像に献花(写真:中央社)

大学で講演会

「一方的現状変更の試みは容認できず」
同11日午前、萩生田氏は高雄市にある義守大学で講演した。中国が台湾への圧力を強めていることを踏まえ、日台の連携強化を訴えた。軍事面では「力による一方的現状変更の試みは決して容認できない。軍事的な緊張を高めるような行動は差し控えるべきだ」と述べ、中国による軍事的な威圧を非難した。

また萩生田氏は福島第1原子力発電所の処理水放出に対する台湾側の理解や応援に

京都橘高校吹奏楽部は昨年10月の訪台の際、北一女を訪問し、同校楽儀旗隊と交流していた。北一女はその後、京都橘高に定期的な音楽交流の提案を持ちかけ、今年初めに同総会の仲介によって開いたオンライン会議で、創立記念イベントへの出演を正式に打診したという。

今回は昨年の93人より多い98人編成で訪台する。12月9日から15日までの日程で滞在し、創立記念イベントに出演するほか、台湾の一般の人々に向けたパフォーマンスも行う。李氏によると、昨年の訪台時、両校の交流は和やかな雰囲気で行われ、多くの生徒がSNSのアカウントを交換し合っていたという。

北一女は日本統治時代の1904の創立。現在は台湾で最も有名な進学校と言われている。同校楽儀旗隊は1958年に成立し、1970年の万国博覧会をはじめ数多くのイベントでパフォーマンスを披露した。



蔡総統と会談(写真:中央社)

「勇気づけられた」と謝意を述べたほか、中国側の全面禁輸措置に対し「即時撤廃を強く求める」と訴えた。

蔡総統と会談

「日台間の協力強化に期待」

講演を終えた萩生田氏は、台北市内の総統府で蔡英文総統を表敬訪問した。蔡総統との会談は約10カ月ぶり。

蔡総統は権威主義の拡張など世界的課題に触れた上で「台湾と日本は互いにとって頼もしい仲間であり続け、共に地域の平和と繁栄

| TOPIC | |
|----------------------------|------|
| 日本語版 | |
| ●東京で「台湾国慶祝賀会」開催 | 2面 |
| ●台北ファッションショー2024春夏が開催 | 3面 |
| ●杭州アジア大会 台湾選手が目覚ましい活躍 | 4面 |
| 中国語版 | |
| ●國慶特集 | 8-9面 |
| ●蔡総統出席國慶晩會 日總一起共襄盛舉 | 10面 |
| ●世華關東分會創會大會 鄭玉蘭期望所籌擔任創會會長 | 11面 |
| ●世華日本分會舉辦會長交接儀式 世華姐妹踴躍出席觀禮 | 11面 |
| ●僑聯總會海外理事會移師日本 200人參加場面盛大 | 12面 |

WEBでもニュース記事が読めます
<https://taiwannews.jp/>

南国料理で宴会プラン楽しく歓送迎会!!

予約電話: (03)5215-2537

台湾新聞2024年
謹賀新年元旦号
広告ご出稿のご案内

台湾新聞では、来年1月1日に113年目の新年を迎える中華民国(台湾)へのお祝い広告を募集しております。台湾新聞の読者の方々に向け、お祝い広告を掲載しませんか?

▼詳細御希望の方はお気軽にお問い合わせください。

【お申し込み方法】
FAXまたはメール、郵送で弊社までお知らせ下さい。

【お問い合わせ・お申し込み先】
臺灣新聞社
TEL: 03-5917-0045
FAX: 03-5917-0047
E-mail: info@taiwannews.jp
〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4



蔡総統、日台関係の強化に期待(写真:中央社)

に貢献することを期待している」と述べた。また萩生田氏の再訪を歓迎すると共に、台湾まで越えてきた訪問団のメンバーが長年にわたって日台関係の深化に尽力してきたことについて「みんな台湾のいい友達だ」と感謝した。

萩生田氏は挨拶で「高雄の講演で学生からの質問が相次いで驚いた」とし、日台間の若者交流の促進などに意欲を示した。日台関係については「台湾は日本にとって大切な友人だ。今後も双方の交流や協力の推進に積極的に取り組んでいきたい」と述べた。

日台共栄首長連盟が訪台 台南市長と面会



日台共栄首長連盟が訪台(写真:台南市政府) 石川県加賀市の宮元陸市長と埼玉県本庄市の吉田信解市長が率いる訪問団28人が10月4日、台湾台南市(黄偉哲市長)政府を訪問した。黄市長は、両市長を歓迎し、両氏ら発起人が今年6月に立ち上げた「日台共栄首長連盟」が、日台関係法の制定などを求める要請書を岸田文雄首相に提出し



日本の友人を歓迎する黄市長(写真:台南市政府) 事に感謝の意を表した。同連盟は日本全国の基礎自治体首長で構成され、2021年より発足している。黄氏は「加賀市はいつも台湾の農産物を支持していただき、宮本市長も今年5月に行われた八田與一氏記念会に出席してくれた」とし、台南市と加賀市の友情をアピー

ルした。宮元氏は「台南市と加賀市は2014年に友好都市協定を結んでおり、新型コロナウイルス流行下には、台南市が加賀市に支援物資を提供するなどを通じて、交流を深めている」とした上で「自身が『日台共栄首長連盟』の会長に就任して以降、日台の友好関係を守る決心がさらに強固になった」と語った。吉田氏は「本庄市は台南市との間に公式な提携関係を有していないものの、本庄市の関係者と市の公式マスコット『はにぼん』が台南市で行われたパレードに複数回にわたり参加する」と述べ、台南市と提携を結びたい意向を示した。

訪問団の受け入れは、黄市長のほか同市政府新聞と国際関係部の蘇恩恩処長、観光旅行局の鄭道立主任秘書らも列席。訪問団は両市長のほか、両市議や石川県議、さらに中華民国台湾の僑務顧問を務める陳文筆博士も出席した。

第3回世界先住民観光サミット 来年4月に高雄で開催へ



世界先住民観光サミットが高雄で開催(写真:原住民族委員会)

台湾原住民族(=先住民族)事務を管轄する台湾原住民族委員会は10月19日、先住民族の観光資源を研究する「第3回世界先住民族観光サミット(2024 World Indigenous Tourism Summit)」が来年4月16、17日、台湾高雄で開催されると発表した。また記者会見では「続く18日から20日まで、台湾一周の旅を手配し、参加者に台湾原住民族の文化や自然の生態系について理解を深めてもらう」事も発表した。同委員会の夷将・拔路児主任委員によると、キービジュアルのベースとなっている「TULU」は、数字の3を意味する。台湾で承認されている16の原住民族のうち、14の原住民族で3を意味する言葉があること採用したという。さらにオーストロネシア語族が住む国であるニュージーランド、グアム、ツバル、フィリピンなどでも、これに似



夷将・拔路児主任委員が挨拶(写真:原住民族委員会)

た発音で3を表現する。キービジュアルは「TULU」の文字のほか、台湾原住民族に共通する色彩や多様なイメージが描かれている。「世界先住民観光サミット」は2018年にニュージーランドで初開催。当時から第3回の開催地は台湾にすべきだと推す声が高く、2023年にオーストラリアで開催された第2回サミットに、夷将・拔路児主任委員が率いる訪問団が訪れ、第3回サミットを台湾で開催することを後押しした。原住民族委員会は「来年4月16日から20日までの5日間、世界各国の先住民族、政府関係者、専門家、旅行業者などが台湾に集まるのを機に、先住民族が持つ伝統の知恵、文化、創造力を活用し、地元住民としての観点からガイドを行い、観光によってたらされる経済効果を全てで享受する方法について議論し、先住民族観光のサステナブルな発展を推進していきたい」と期待を寄せている。

東京で「台湾国慶祝賀会」開催



日華懇の古屋圭司会長 台湾対日窓口機関・台北駐日経済文化処は10月5日、東京で祝賀レセプションを開いた。謝長廷駐日代表は、台日がお互いに助け合う「善の循環」が行われていることに「友好関係の表れ」をアピールした。同10日の双十国慶日を前に開かれた祝賀会では、台湾の代表的な美食のネギパイ、担仔メン、豆花が振る舞われたほか、処理水問題を巡る「中国向けの禁輸」とされた日本産水産物の応援の一環として、料理の食材に東北地方の水産品を採用し、さらに出席者へのお土産品にも北海道産のホタテを用意した。



安倍昭恵さん 謝氏は挨拶で「日台間に国交関係はないものの、各分野で緊密な往来がある」とし「都市間の交流において今年は安倍元首相の故郷である山口県と台南市が自分の任期内に100項目あまりの友好交流協定を結んだ。私にとっても重要だ」と述べた。さらに同氏は中国が台湾産パイナップルの輸入を禁止した際に、安倍元首相が率先して台湾を支持したことや「この度台湾も日本産水産物を応援することは「善の循環」の具体的実践」とも語った。同席した安倍氏の夫人、昭恵さんは「7月に訪台し安倍氏の写真展を訪れた際、台



麻生太郎自民党副総裁も出席



日本産水産物を応援

湾の人のぬくもりを感じた」と話し、日台関係のさらなる深化に期待を寄せた。代表処によると、この日は自民党の麻生太郎副総裁をはじめ、200人以上の衆参議員のほか、台湾と外交関係を持つグアテマラやハイチ、マーシャル諸島、パラグアイの関係者、在日華僑らなど、計1000人以上が出席したという。

台南産果物の冷凍加工品が日本に輸出



出商品の前で記念写真(写真:台南市政府)

台湾台南市で10月23日、同市産パイナップルやマンゴーを使った冷凍加工食品を日本に向けて輸出する出発式が行われた。同市の黄偉哲市長は「同市で生産される質の高い農産物が今後、冷凍技術によって季節や地域といった制限を乗り越え、一年中日本市場に向けて輸出できれば」と意欲を示した。今回日本輸出を果たしたのは冷凍加工専門業者、冠南バイオテクノロジー。同社の黄栄裕社長は「今年3月に台南市が実施する『FOODEX JAPAN』の出展企業募集に参加し、日本の複数の商社から商品輸出の打診が入ってきた」と説



台南産果物の冷凍加工品が日本に輸出(写真:台南市政府)

明。今回出荷したのは、そのうち株式会社丸久から注文を受けた冷凍加工果物18項目目だ。注文を受けてからわずか3か月の間に日本の食品検査や分析をクリアし、台南産の農産物の安全性と競争力の高さを見せつけた。同市農業局によると、果実や加工品の急速冷凍は風味を保てるだけでなく、輸送の過程で損傷しづらく、貯蔵や運送の耐久性もより高まるという。同局は「今回輸出される商品は日本のスーパーや製菓・製パン市場に向けて販売される」とし「現地での消費者の需要を満たせるよう今後も継続して輸出していく」とした。

日華懇が台湾訪問 総統選候補らとも面会



日華懇が蔡英文総統を表敬訪問(写真:総統府) 超党派議員連盟「日華議員懇談会」(日華懇)による訪問団は10月7日、台湾に到着した。同10日の国慶節祝賀式典に出席したほか、来年1月に投票する次期総統選の3人の候補者との意見交流会も行った。今回訪台した国会議員は40人を超え、式典に出席する人数としては過去最多。訪問団を見送るため、羽田空港で記者会見を開いた謝長廷駐日代表は「日華懇が今年設立50周年を迎えた。半世紀にわたって台



台湾国慶祝賀式典に出席した議員団(写真:中央社)

湾への力強い声援に感謝する」と述べた。議員団、次期総統選候補と対面 同9日、議員団18人が台湾野党の国民党公認候補の侯友宜新北市市長と会談。日華懇の古屋圭司会長は挨拶で「世界に対して日本と台湾との友好の絆だけでなく、台湾海峡の平和と安定が世界の安定につながるということを我々の行動で示していきたい」と述べた。侯氏は「日本側の議員らの最大の関心事は台湾海峡の情勢とインド太平洋地域の平

和と安定であることを認識している」とし、自らが総統になった場合は台湾海峡を安定させ、衝突のリスクを減らす役割を担うと意気込んだ。また台湾第三勢力の民衆党本部も訪れ、同党の柯文哲党首とも意見交流を行った。その後、議員団は頼清徳副総統と面会した。頼氏は「台湾と日本は防衛ライン『第一列島線』上の重要な場所に位置している」とし、地域の平和と安定を共同で守る責任を負うとの考えを示した。経済貿易については「台湾は日本にとって第4位、日本は台湾にとって第3位の貿易相手国。今後も引き続き関係強化をしたい」と期待を寄せた。頼氏は与党民進党党首を兼任し、同党の次期総統選候補として出馬する。「成熟した台湾の民主主義を世界に発信したい」蔡総統を表敬訪問 議員団は同10日、台北市内のホテルで記者会見を開き、来年の総統選について「成熟した台湾の民主主義を世界に向けて堂々と発信してほしい」と語り、候補者3人について「いずれの候補者が当選しても台湾の安全と平和を守り抜くために責任を持って活動するのが一国のリーダーの責任だ」と語った。

米対台窓口機関トップが訪台 総統選候補らと面会



蔡英文総統を表敬訪問(写真:総統府) 米国対台窓口機関、米国在台協会(AIT)のローゼンバガー主席は10月15日~19日、台湾を訪問した。台米関係、地域情勢、経済投資問題について台湾政府の関係者、企業代表らと会談し、来年1月に控える総統選に出馬する候補らとも面会した。ローゼンバガー氏の台湾訪問は今年3月20日に主席就任以来3度目。台湾外交部が訪



表敬訪問の記念写真(写真:総統府)

問初日に出した報道資料によると、ロ氏は頻りに台湾を訪問することにより、米国が台湾との関係強化に期待を寄せていると指摘した。蔡英文総統を表敬訪問 ロ氏は同16日、蔡英文総統を表敬訪問。蔡総統は挨拶で「『21世紀台米貿易イニシアチブ』第一段階の協議はすでに調印し、第



頼清徳副総統と面会(写真:頼清徳 SNS)



侯友宜新北市市長を訪問(写真:侯友宜 SNS) 二段階も8月から展開している」とし、台湾と米国が経済貿易、安全保障面における協力を強化すると期待した。ロ氏は「米国と台湾は台湾海峡の平和と安定に共通の利益をシェアしている」と指摘。「米国による台湾への承諾は盤石なもので、政権交代でも変わらない。米国は引き続き友人を支援し、台湾に現状維持への努力を期待

している」と述べた。さらに「台湾は民主の灯台で、インド太平洋地域における重要なパワーだ」と讃え、11月に米サンフランシスコで開催されるアジア太平洋経済協力会議(APEC)への参加に期待した。各党の総統選候補と会談 蔡総統の表敬訪問後の同日、頼清徳副総統と面会した。頼氏は与党民進党党首を兼任しており、来年の次期総統選に与党公認候補として出馬する。頼氏は会見で「様々な研究結果により、台湾は現在たくさんの偽情報に影響を受けている。台湾と米国が手を組んで、中国による輿論戦を避けて『疑米論』の影響を解消するように努めたい」と述べた。また今後台湾が地域情勢における役割について「今まで通りインド太平洋地域の安全に貢献したい」と表明した。ロ氏は同日、野党国民党の総統選候補、侯友宜新北市市長と会見した。侯氏はSNSで「今年9月の米国訪問は、ローゼンバガー主席の支援をいただいて、米国国会などを訪

れ、自身の兩岸政策、外交、国防を巡って意見交換した」とし、自分が当選される場合、台湾は地域の平和に貢献できるパートナーとして目指したいと意気込んだ。さらにロ氏は同18日、第二野党民衆党の柯文哲主席と面会。柯氏は会談中「台湾は強力な防衛能力を構築しなければならない」との認識を示し「国際貿易体系において重要な役割を担っているからこそ、台湾の自主性が確保される」と語った。台湾への承諾は変わらず 訪問の最終日、AITの台北事務所座談会に参加した。ロ氏は挨拶で「台湾への支持はバイデン政権にとって重要な目標で、党派を問わず支持されている」と表した。台湾メディアから「台湾への支援はイスラエル・パレスチナ衝突に影響されるか」との問いには「台米間のパートナー関係と台湾海峡の平和は米国の長期的利益で、世界中のでき事に影響されない」との認識を示し、米国は引き続き台湾の自己防衛に支持すると宣言した。



台北市日本工商会 5県産食品の輸入規制を撤廃要望



台北市日本工商会が白書を提出(写真:中央社)
台湾台北市に事務所を持つ日系企業などをつくる「台北市日本工商会」は10月6日、蔡英文政権に対して政策を提言する2023年の「白書」を国家発展委員会の龔明鑫主任委員に提出した。台湾の環太平洋経済連携協定(TPP)加入に向けた高いレベルの条件を満たすためにも、福島など5県産食品の一部に対する輸入停止継続や放射線検査報告書の添付などについて、完全撤廃に向けて取り組むよう求めた。白書は「日台協業の目指す姿」として、



福島など5県産食品は2022年2月から条件付きで輸入解禁経済、企業、人材の面で日本と台湾が協力して目指すべきビジョンを示し「目指す姿の実現に向けた提言」としてインフラ、人材、制度の各方面で同工商会が必要と考える施策が記された。個別要望事項は今までの未解決内容を継続した40項目と新規案件15項目が出された。経済面では、台湾が2021年9月にTPP加入申請をした際、工商会は加入実現に向け「日本政府の積極的な支援を希望した」とし、台湾に対してはインド太平洋経

済枠組み(IPEF)への参加や日本や他国との経済連携協定(EPA)、自由貿易協定(FTA)の締結を進めるよう呼びかけた。半導体サプライチェーンについては、半導体受託製造世界最大手の台湾積体回路製造(TSMC)が熊本県に半導体工場、茨城県に研究開発センターを設立する事に触れ、日台間における半導体開発と生産の役割分担や連携を望むとした。

エネルギー分野では、台湾で半導体工場などの産業用途による電力需要が旺盛などとした上で、省エネ技術の導入による総電力需要の削減余地が大きいと指摘。日台一体となった脱炭素社会の実現に向けた動きの加速に期待を寄せた。

また「電力や生活・工業用水の安定供給に不安がある」とし、中長期を見据えた抜本的な対応を要望した。

人材面では、今年度終了及び労働契約終了の際に未消化の有給休暇を賃金換算して支給する「余剰年休買取り制度」が、長時間労働を助長する結果になっているとして見直しを求めたほか、労働力不足が続いているとして、外国人労働者の受け入れや少子化の解消に関するさらなる取り組み強化を望むとした。

日本と台湾の医療研究機関 高齢者医療研究で協力



日台医療機関、高齢化医療で連携締結(写真:中央社)

台湾の研究機関「高齢・健康総合研究センター」を構成する台北栄民総院、国立陽明交通大学、国家衛生研究院が10月18日、日本の国立長寿医療研究センター(愛知県)、東京都健康長寿医療センター(東京都)と高齢者医療研究に関する包括的連携協定を締結した。老年医学や老化科学の研究での連携を通じ、最先端の研究成果を地域社会に還元するとともに、台日における高齢者の健康福祉の向上を図る。

締結式は東京都健康長寿医療センターで行われ、台湾からも3機関の代表者が出席した。

栄民総院の陳威明院長は挨拶で「アジアにおいて各国の高齢化程度が異なっているが、日本と台湾の高齢化が最も厳しい」とし「双方は高い研究能力や資源を持ち、研究結果を期待している」と述べた。

陽明交通大の林奇宏学長は、同校が最先端のデジタル技術を使って高齢化研究を進めていると指摘。「台湾のデジタル技術を活かし、研究の結果を世界中に広げていく」と期待した。

国家衛生研究院の司徒惠廉院長は「国衛院が台湾の高齢化に向け『高齢医学と健康福祉研究センター』を設立した。台湾政府が高齢化を重視する姿勢を示した重大な一歩だ」とコメントした。

台北栄民総院が同日発表した報道資料によると、台日間での老年医学研究の協力は2015年に始まった。今回は新たに東京都健康長寿医療センターが加わり、研究の幅がさらに広がる。また今回の協定の下、人材交流や学生交換を強化するほか、双方が共に関心を抱く課題について研究費を申請し推進していくとした。

台北ファッションショー 2024春夏が開催



台湾最大級のファッションイベント「台北ファッションショー2024春夏」が10月11日から17日、台北市松山文創園區で開催された。アート、台湾原住民文化、伝統工芸などとコラボレーションし、海外メディアの注目を浴びた。

台湾文化部、経済部、台北市政府の共同主催によるもの。文化部の王時恩次長は11日の開幕式典で「今回は『ユースカルチャー』をテーマにしている。世界のファッション業界は若者のユニークな視点こそがポップカルチャーに影響を与える鍵であると考えている」とし「今回を通じて

台北ファッションウィークが開幕(写真:中央社)
台湾のユースカルチャーを探索しながら、台湾のストリートファッションを世界に発信する」と述べた。

オープンニングショー「青・春」には「.67ARROW」「(A)crypsis®」「ANOWHEREMAN」「oqLiQ」「PLATEAU STUDIO」「JUST IN XX」の6の台湾ブランドが登場し、HIP HOP、ロック、グラフィティ、漫画などユースカルチャーからインスピレーションを受けた作品を披露した。日本のYoutubeチャンネル「THE FIRST TAKE」にも出演した台湾アーティスト「韋禮安」も会場を訪れ



文化部の王時恩次長(写真:中央社)

た。

また、今回の台北ファッションウィークには、台湾発の15のブランドが登場。10ブランドによるショーは公式会場の松山文創園區で開催されたものの「Daniel Wong」「JENN LEE」「Liyu Tsai」「RAY CHU」のショーが台北市内の別の会場で行われ、高雄市では「#DAMUR」の発表会が開催された。期限検定デザイナーセレクションショップや国際服飾品バイヤー商談会も開催された。

公式発表によると、各ブランドは宗教芸術、歴史文化から日常生活、AIテクノロジーまで、様々な要素を取り組んで今季のテーマを考案していたという。「デザイナーならではのスタイルで独自のブランドらしさを創造し、多文化的価値を作り上げていく」とコメントした。

TSMC 創業者張忠謀氏 半導体産業の環境変化に憂き目



運動会に出席した張忠謀氏(左から2人目)(写真:中央社)

世界最大手の半導体受託生産企業、台湾積体回路製造(TSMC)の創業者張忠謀氏は10月14日、台湾新竹県で開催されたTSMCの社内運動会で報道陣の取材を受け「20、30年後の台湾の半導体産業を取り巻く環境は現在のような状況ではなくなる可能性がある」と表明した。

張氏は「かつてテキサス・インスツルメンツ(TI)で働き、九州を訪問した際に、土地や工業用水、電力に余裕があるように感じ、シンガポールと同じ工場運営に適した場所だ」と指摘した経緯がある。また自身の経験により「20世紀の50から70年代の米国では、今の台湾のように半導体産業の環境はよくなったが、現在に至っては米国はアップグレードして半導体生産でなく半導体設計に力を注ぎ、エヌビディア(NVIDIA)をはじめ数多くの企業が半導体設計に注目し

ている」と産業構造及び環境の変化を語った。

一方で台湾の半導体産業の優位性について「24時間設備が稼働していることだ」とし「午前0時に故障が発生しても、エンジニアが迅速に対応する」と強調した。続いて「だが20~30年後にはどこかの国が頭角を現してきて、現状が変わるかもしれない」と憂き目を吐露した。

運動会の挨拶では「半導体産業はグローバル化も自由貿易もすでに終わった。最も重要なのは国家の安全保障にほかならない」とした上で、TSMCは皆が必要とする企業になったと主張。「今後はほかの企業が地政学的なトレンドを利用してTSMCに攻勢をかけ、これからの数年間に直面する挑戦はこれまでより厳しいものになるだろう」しながらも「TSMCは挑戦を克服できる」と自信を見せた。

CEATEC2023 開幕 台湾企業が共同出展



台湾パビリオン

日本最大級のCPS(サイバー・フィジカルシステム)/IOT総合展「CEATEC2023」(主催=電子情報技術産業協会JEITA)が10月17日から同20日までの4日間、千葉幕張メッセで開催された。経済発展と社会課題の解決を両立する「Society 5.0」の実現に向け、IT・エレクトロニクス技術の役割が一層高まる昨

今、19年以来4年ぶりに大規模コンファレンスがリアル会場で開催された。

開幕に先立ち、同16日夜に開かれたオープンングセレクションでは岸田文雄首相をはじめ、関係各省のトップが顔を揃えた。岸田総理が挨拶で「ドローンや自動運転を最速で事業化するために官民連携を進めている。今年に入り若手研究者やAI開発企



台湾パビリオンの説明を読む日本の生徒たち



CEATEC2023が幕張メッセで開催

業と議論を進め、無限の可能性を感じている」とデジタル政策を重視する姿勢を強調した。

一方、社団法人台湾情報セキュリティ協会(TWISA)は、台湾デジタル発展部の協力を得て、台湾国家発展会議、株式会社StarFab Acceleratorと台湾パビリオンを共同主催した。台湾の最新情報セキュリ

ティ対策や産業サプライチェーンの情報セキュリティ強化実績などを紹介。台湾からは10社が出展した。

また、台湾の大手IT会社「台達電子(Delta)」は開幕当日、会場での記者会見で、同社の新しい核心理念「Intelligent, Sustainable, Connecting」を発表した。郭珊珊CBOは

「今回の出展により、Deltaが工業ブランドから商業ブランドまでアップグレードしたことが示される。日本の『Society 5.0』の価値観と一致し、今後は日本のパートナーと緊密な関係を築き、人々の利益を第一にして素晴らしい未来を作り出す」と意気込んだ。登録来場者数は、昨年を大幅に上回る計10万人以上が来場した。

次世代エネルギー技術展開催 「ネットゼロ」が今後の課題に

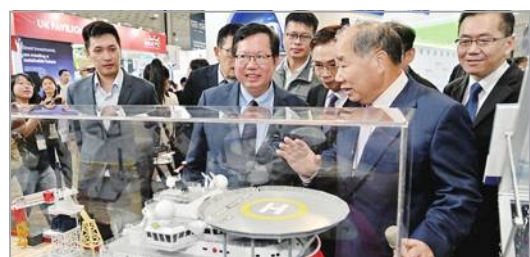


開幕式典の記念写真(写真:行政院)



鄭文燦 行政院副院長

鄭文燦行政院副院長が挨拶(写真:行政院)
台湾対外貿易発展協会(TAITRA)とグリーンエネルギー永続発展連盟が共同開催した「エネルギー台湾」と「ネットゼロ台湾」の展示会が10月18日~20日、台北南港第1展示ホールで開催された。台湾行政院の鄭文燦副院長が初日の開幕式典に出席し、祝辞を述べた。鄭文燦副院長は「ネットゼロが今後台



説明を聞いている鄭氏(写真:行政院)

湾にとって大きな課題の一つになる」と指摘した上で「政府は昨年3月『2050年ネットゼロ排出ロードマップ』と『12項目のキー戦略アクションプラン』を策定した」と説明し、陳建仁院長が今年1月に行政院長就任後、最初に署名した文書がすなわち「ネットゼロ排出ロードマップ2023-2026年綱要計画」だったことを挙げた。

この綱要計画は9つの部会が協力し、4年間で743億台湾ドル(約3,433億日本円)の予算を計上し、関連技術の開発を全力で支援することが盛り込まれている。

また同氏は「今年8月に行政院環境保護署が環境部に昇格し、その下に気候変動署を設置した。

経済部能源局も今年9月の組織改編で電源署と改めたことなどは、いずれも『ネットゼロ』実現へ向けた政府の決意を示すものだ」と強調。そのための努力をいまから始め、「ネットゼロ」の未来へ向かって歩き出すと呼びかけた。

鄭副院長一行はその後、スタッフの同行で出展エリアを参観し、最新技術、設備、応用成果などについて理解を深めた。

第60回金馬奨「候補リスト」発表 11月に授賞式



世界最大級の華語・華人映画賞「第60回金馬奨」は10月3日、ノミネーションを発表した。主演男優賞候補には、今年大ヒットを記録した台湾コメディ映画「僕と幽霊が家族になった件」の許光漢と林柏宏が揃って選ばれた。

同日に台北市内で開かれた記者会見で、台北金馬映画祭実行委員会の閻天祥CEOと昨年の金馬奨で同賞を受賞した香港出身の俳優黄秋生が候補作や候補者を発表。



李安監督が選考委員会主席に就任(写真:中央社)と幽霊〜」は8ノミネート、台湾映画「疫起」も同じく8ノミネートとなった。

日本出身者では、映画作家の大塚竜治が中国出身で妻の黄驥監督と共同で手掛けた「石門」で監督賞、脚本賞、編集賞にノミネートされた。なお同作は作品賞候補にも選出された。また、ミュージシャンの片山涼太が詞、曲、歌で参加したマレーシア映画「富都青年」の楽曲「一路以來」で歌曲賞候補に入った。

閻CEOによると、今年は優秀作品が多く「候補の選考は8時間を費やし、激しい議論が交わされた」という。なお、同奨が第60回を迎えることを記念するため、台湾史上初のアカデミー監督賞を受賞した李安監督が選考委員会の主席を務めている。授賞式は11月25日、台北市の国父記念館で開かれる。

国立台湾交響楽団が初の来日公演



国立台湾交響楽団は10月16日、西新宿の東京オペラシティコンサートホールで「2023NTSO来日公演〜台湾を聴く」の東京公演を開催した。台湾民謡「音楽百年」組曲などを演奏し、音楽を架け橋として台湾と日本の思いをつないだ。来日公演は1945年の創設以来初めて。

ラトビア出身でオペラの指揮に定評があるアイナルス・ルピキスが指揮し、バイオリン奏者の曾宇謙をソリストに迎えた。曾は2015年にクラシック音楽のコンクール「チャイコフスキー国際コンクール」で2位入賞を果たしている。

コンサートはグリーンカ作曲の歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲で華々しく幕を開け、続いてツェンとの共演でチャイコフスキー作曲「バイオリン協奏曲Op.35」を情緒豊かに演奏。後半にはチャン・チンジャン(張菁珊)編曲の台湾民謡「音楽百年」組曲を披露し、台湾



演奏中のNTSO(写真:中央社)出身の観客の心をつかんだ。組曲では台湾でよく知られる「阮若打開心內的門窗」や「客家本色」「美麗的稻穗」などが演奏された。

来場したチェリストの堤剛さんはツェンコンサートはグリーンカ作曲の歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲で華々しく幕を開け、続いてツェンとの共演でチャイコフスキー作曲「バイオリン協奏曲Op.35」を情緒豊かに演奏。後半にはチャン・チンジャン(張菁珊)編曲の台湾民謡「音楽百年」組曲を披露し、台湾

東農大二高吹奏楽部 高雄と台北で連日パフォーマンス



東京農業大学第二高等学校吹奏楽部は、台湾の双十国慶祝賀式典出演のため台湾を訪れた。台湾高雄市で10月8日、台北市には同日にそれぞれパフォーマンスを披露した。両公演とも演奏と演技で観客を魅了し、会場は熱気に包まれた。



国家两厅院屋外広場で演出(写真:中央社)2曲を含めて全6曲を披露した。台湾の人々にもよく知られる楽曲を次々と繰り出し、音楽と演技で集まった約1万人の観客を沸かせた。同じイベントでパフォーマンスを行った市立高雄女子高校や私立樹徳家商、市立高雄家商の生徒らが、イベント終了後に日台の高校生交流パーティーを開いた。

その後台北市に戻り、同日午前台北市の円山ホテル前でもパフォーマンスを披露した。台湾メディアによると、公演の1時間前からすでに観客が集まり、雨の影響で1曲で打ち切られたものの、演奏中に観客が拍手を送り、盛り上がりを見せた。同日午後にも、台湾の音楽聖地と言える台北市国家两厅院の屋外広場で台湾と米国の団体と共に演奏会を行った。

渡辺直美が台湾ホラーコメディ映画出演



タレントの渡辺直美が出演する台湾映画「怎麼可能我家的祖先是你家的鬼」(仮訳=うちの先祖が君の家のおばけだなんて)のクランクイン式が10月12日、台北市内の台北霞海城隍廟で開かれた。

初めての台湾映画出演となる渡辺は「台本をもらった際に『台湾で、ホラーで、さらにコメディ』という点に興味を湧いた」とした上で「あらすじがめちゃくちゃ面白いと感じたからオファーを受けた」と報道陣に答えた。

同作で人気芸能人役を演じる渡辺。同作の監督と脚本を担当する蘇達は「制作段階から渡辺をヒロインのモデルとしており、新型コロナウィルスの流行前から連絡を取っていた」と説明した。

また渡辺の相手役となるマネージャー役を演じるのは台湾の俳優劉以豪。「もし現実にも彼のようなマネージャーがいれば毎日仕事頑張れる」と笑顔を見せた。



渡辺と相手役を演じる劉以豪(写真:中央社)なお渡辺は同作で中国語のセリフにも挑戦する。スタッフによると、渡辺の母親が台湾人でもあるため、簡単な中国語の会話は聞き取り、台本の読み合わせの際もほかの出演者のリズムに合わせていたという。録音や発音のメモを使って熱心にセリフを覚え、一部の日本語のセリフを中国語に変えてはどうかとの提案も自発的に出すなど、積極的に準備をしている様子だった。

同作は10月15日より開始され、撮影期間は台湾で約1カ月間に渡る。

杭州アジア大会 台湾選手が目覚ましい活躍



第19回アジア競技大会は9月23日から10月8日、中国杭州で開かれた。台湾選手は大会で目覚ましい活躍を見せ、1998年のバンコク大会と並んで歴代最多となる19個の金メダルを獲得し、国・地域別のメダルランキングでも歴代最多タイの6位となった。

東京五輪銀の楊勇緯が柔道で台湾勢初の金

東京五輪で奮戦を見せた銀メダリストの楊勇緯は、今大会で韓国のイ・ハムを下し、大会において台湾勢初の金メダルを獲得した。アジア大会通算100個目となる快挙だった。

楊は東京五輪後、各大会で活躍を見せたものの、今年に入り選手としての身体的な状態が落ちていたが、アジア大会を向かって態勢を整え、みごとに金メダルに輝いた。試合後も涙を浮かべて喜んだ。

また、柔道女子57キロでも台湾のベテラン選手連珍鈴が日本の玉置桃を破り、柔道女子で初めての金メダルを手にした。

サッカー男子、16大会65年ぶり勝利

開幕前に実施されたサッカー男子では、世界ランキング154位の台湾代表が同147位のインドネシアを1-0で抑え、65年ぶりの初ゴールと初勝利を飾った。



楊勇緯が悲願の金メダル獲得(写真:中央社)



サッカー男子で65年ぶり勝利(写真:中央社)で金メダルを獲得した。女子決勝に台湾は劉懿萱、李孟竹、楊合貞の布陣で臨み、4分19秒447で優勝した。李と劉は今大会1000メートルでそれぞれ金銀、楊も1万メートルで銀を獲得している。

男子決勝には陳彦成、趙祖政、黃玉霖が出場。終盤まで韓国代表にリードされてきたが、決勝ライン前に韓国選手が両手を挙げて油断したため、台湾代表が0.01秒の僅差で競り勝った。

野球は韓国に惜敗

10月7日に行われた野球決勝戦では、台湾は韓国に0-2で完封負けし銀メダルとなった。2006年ドーハ大会以来、4大会17年ぶりの優勝を期待されていたが、打線がつかわず、スーパーラウンドの日本戦に続いて2試合連続で無得点となり、韓国の4連覇を許した。

先発した林昱珉選手が5回2失点と好投しても敗戦投手となり、涙ながらに「申し訳ない」と謝罪した。インターネットでは「頑張ってくれた」「お疲れ様」などの声が上がって、選手たちの奮戦を励ました。

蔡英文総統は大会閉幕後帰国する代表団を出迎えるため、F-16戦闘機に代表団の飛行機の援護を命じ、自らも空港まで足を運び、拍手しながら代表団を迎えた。



許皓鋐九段が快勝(写真:中央社)



ベテランの連珍鈴が金メダル(写真:中央社)



ローラースケート3000mで大逆転(写真:中央社)



台湾代表、野球男子で銀(写真:中央社)



Digest News / October 2023

— 1ヶ月の出来事をダイジェストで振り返ります

Oct.1 台湾U18エースの孫易磊 日本ハムと契約合意

今年の野球U18ワールドカップで台湾の準優勝に貢献した孫易磊がこのほど、日本ハム球団と契約合意に達した。この日球団が発表した。球団の稲葉篤紀ゼネラルマネジャー(GM)は、台湾の人々にとって「宝物のような存在だ」と孫を形容。時間をかけて育成し「将来は世界を相手に戦うような投手に」と期待した。孫は野球の名門「毅保家商」校の出身で、現在は台湾の中国文化大に在籍。今年9月に行われたU18W杯に出場した際、155キロの速球で大活躍した。



孫易磊、日本ハムと契約合意(写真:中央社)

Oct.5 タイガーエア台湾、福島県などと協力意向書に調印

台湾の格安航空会社(LCC)のタイガーエア台湾はこの日、台北市内で福島県及び旅行会社のグロリアツアーとチャーター便の運航に関する協力意向書に調印した。福島県の内堀雅雄知事が訪台し調印した。スキーズンに合わせて来年1月16日から同3月末まで、台北(桃園)一福島間でチャーター便を週2便火曜と金曜にそれぞれ1往復運航する。タイガーエア台湾の張明璋社長は「来年3月末以降は定期便に切り替えたい」と意欲を示した。タイガーエア台湾は現在、日本線を16路線運航。うち6路線は単独での運航だ。今年の11月には高知、12月には秋田にも就航する予定。



タイガーエア台湾、福島県と協力意向書に調印(写真:中央社)

Oct.10 旧たばこ工場に元従業員ら集まる

日本統治時代に建設されたたばこ工場を再活用した台北市の文化施設「松山文創園區」でこの日、かつての従業員を招待したイベントが開かれ、200人が集まった。同工場は1939(昭和14)年に台湾初の近代化紙巻たばこ工場として商品の生産を開始。元従業員が集まるイベントは80周年を迎えた2019年にも開かれ、70人余りが参加したが、その後新型コロナウイルスの流行で中止となっていた。この日集まった元従業員の平均年齢は65歳を超え、最高年齢は102歳の男性だった。



日本時代の旧たばこ工場イベント(写真:中央社)

Oct.13 安倍昭恵さん、高雄の廟に感謝の手紙

安倍晋三元首相の銅像がある高雄市の「紅毛港保安堂」の張吉雄主任委員はこの日、安倍氏の妻、昭恵さんから感謝の手紙を受け取ったと明らかにした。昭恵さんは今年7月に台湾を訪問し、同18日に保安堂を訪れ、夫の銅像に献花した。手紙には、故安倍氏が台湾に特別な思いを抱き、ビジョンを持って政治家としての職務を遂行してきたことに加え、今後は安倍氏が思い描いた「日本と台湾の未来に少しでも近づけるよう」自分なりのやり方で力を尽くしていく姿勢を表した。



安倍昭恵さん、夫の銅像がある高雄の廟に手紙(写真:中央社)

Oct.14 台湾桃園国際空港、米NYで台湾観光PR動画放送

台湾桃園国際空港はこの日、台湾観光をPRするイメージムービーを米ニューヨークのタイムスクエアで7日に放送したと発表した。同空港の特色のみならず、小籠包や中肉麵、豆花などの台湾グルメなどを15秒間にわたってアピールするという。同空港は「海外で同様のPRを行うのは初めて」と説明。また昨年10月に新型コロナウイルスの感染対策が緩和されて以降、同空港の利用者は2874万人を超えたとし、今年の年間利用者数は少なく見積もっても3千万人以上になるとの見込みを示した。



台湾観光PR動画が米NYで放送(写真:中央社)

Oct.15 台湾甲子園、開幕戦で女子投手が強豪校から三振奪う

「台湾の甲子園」と呼ばれる「黒豹旗」がこのほど、台湾桃園市の楽桃園野球場で開幕した。開幕戦では進学校として知られる延平高校(台北市)が昨年の優勝校「毅保家商」(新北市)に0-20の三回コールドで完敗した。チームは大敗したが、二回途中で登板した女子投手の張子文が三振を奪うなど、選手の好プレーにスタンドからは大きな歓声が上がった。



張子文選手が三振(写真:中央社)

Oct.16 日本人気キャラ「カナヘイの小動物」が南投のイベントに

台湾南投県埔里鎮で10月28日から11月7日まで、チョコレートとコーヒーをテーマにしたイベント「南投チョコヒーフェスティバル」が開催中だ。この日記者会見が開かれ、許淑華県長が来訪を呼びかけた。県によると、会場には県内のコーヒー、チョコレート、ギフト業者など50社以上が集結して商品をPRし、大勢でコーヒーを入れるイベントやドローンショー、花火の打ち上げなどを行っている。また期間中は人気キャラクター「カナヘイの小動物」をデザインした試飲用カップセットも数量限定で販売している。



カナヘイの小動物が南投へ(写真:中央社)

Oct.16 与那国の小学生、台湾の夜市を満喫

沖縄県与那国町にある小学校の修学旅行がこのほど、台湾花蓮県花蓮市を訪れた。この日は夜市を巡り台湾グルメに舌鼓を打ち、17日には市公所を訪問した。花蓮市と与那国町は1982年に姉妹都市提携を結んでいる。市の関係者によると、花蓮市を訪問したのは与那国小と久保良小の児童や関係者ら。東大門夜市で臭豆腐や台湾デザートバイを味わい、射的ゲームなどのゲームを楽しんだ。児童の一人は「4年前に兄が修学旅行で花蓮に来て、台湾の食べ物がおもしろかったと言ってくれた」と話し、今回の訪問でようやく台湾グルメを食べられたと喜んだ。



射的ゲームを楽しむ児童たち(写真:花蓮市公所)

Oct.18 北野武監督が金馬奨特別講座に出席

台北金馬映画祭実行委員会がこの日、同市で11月に開かれる特別講座「2023金馬映画マスタークラス」の講師として、映画監督の北野武さんと俳優の役所広司さん、妻木美雪さん、満島ひかりさんらを招くと発表した。招聘者らは、自身の経験や心得などを披露する模様。役所さん、妻木美雪さん、満島さんの3人は演技分野でそれぞれ講義を行い、どのように人の心を動かす演技をするのかを語る。このほか、製作分野の講師として映画プロデューサーや

小説家などを務める川村元氣さんも招かれる。講座は11月18日から同24日まで開催される。



「2023金馬映画マスタークラス」の講師陣(写真:台北金馬映画祭実行委員会)

Oct.20 日本人芸術家の作品が高雄漁港で展示

台湾と日本に拠点を置く芸術家阿部乳坊さんの作品が、台湾高雄市の弥陀漁港でこの日より展示される。人の形をした色彩豊かな彫刻など芸術品計5点が堤防などに置かれる。同市海洋局が水産物や漁村文化をPRするため、阿部さんに協力を依頼した。より多くの人に高雄の漁港の美しさを味わってほしいとしている。テーマは「旅路の海」。水際の歩道には、鳥を連れて遠くを指さす旅行者の姿を表した作品が設置された。旅の楽しみも伝えることを伝えている。海に向かってスマートフォンを構える金色の人の彫刻は、旅行中に心を躍ら



弥陀漁港で展示される阿部乳坊さんの作品(写真:高雄海洋局)

Oct.21 台東県産「赤烏龍」味のた福、日本の茶舗とコラボ

台湾台東県政府はこのほど、県内で栽培されているお茶「紅烏龍」のPRに向けて日本の茶舗「辻利茶舗」らとコラボレーションし、アイス大福の新商品を開発した。「紅烏龍の市場開拓につなげたい」としている。紅烏龍は紅茶のように完全発酵させ、烏龍茶のように焙煎して作る台湾特有のお茶。主に同県鹿野の低〜中標高にある茶畑で生産され、2008年に流通が始まった。コラボ商品はギフトセットの形で販売され全8個入り。味は日本の抹茶、紅烏龍と同県が誇る商品作物、ローゼルの3種類がある。



台東県産お茶が日本の茶舗とコラボ(写真:中央社)

Oct.22 東京五輪銀の楊勇緯、全国運動会で3連覇達成

台湾で最大規模の総合スポーツ大会「全国運動会」がこの日、台南市で開かれた。東京五輪銀メダリストの楊勇緯が柔道男子60キロ級決勝で優勝し、大会3連覇を達成した。楊は試合後、ファンたちとの記念撮影に応じた。憧れの選手と写真を撮らると、会場には多くの人が詰めかけた。メディアの取材に対し、ファンへの感謝を示した楊は、柔道を学ぶ人が多くなったことに触れ「台湾での柔道のイメージが良くなったと感じた」と語った。全国運動会は1999年に始まり、2年に1度台湾各地で行われている。今回は雲林県で開催される予定。



楊勇緯、全国運動会で3連覇達成(写真:中央社)

Oct.25 台湾映画の大御所侯孝賢監督が認知症で引退

「童年往事 時の流れ」「悲情城市」などの名作を手掛けた台湾映画監督侯孝賢さんの家族はこの日、侯がアルツハイマー病を患っていると公表した。家族は侯の状況について「現在は完全に家庭生活に戻り、安心して休養している」と説明し、大きな問題はないとして、静かに見守ってほしいと呼び掛けた。また家族によると「アルツハイマー病と診断されても映画への情熱は衰えていない」とした。侯は台湾で11月公開される台湾映画「車頂上の玄天上帝」でエグゼクティブプロデューサーを務めている。



2015年に映画の宣伝で来日した侯孝賢監督(左)

Oct.26 嘉義大学で「食農教育」小学生がニワトリの餌付けなど体験

台湾嘉義市の嘉義大学新民キャンパスがこの日、近隣の興嘉小学校の児童を招いて「食農教育の普及・農業体験活動」を行った。児童は大学生の指導の下、種まきや農作業、ニワトリの餌付けや卵拾いなどを体験した。活動は同大マーケティング・観光管理学部と同市政府、同小学校が共同で主催した。同市の郭添財教育局長は「市は食農教育や食の安全に関する教育を積極的に進めている」と説明。これらの教育を小学生から根付かせることで、家庭、さらには市民生活にまで広がっていくことに期待を寄せた。



嘉義大学で「食農教育」(写真:中央社)

1年間の台湾インターンシップ生受入企業募集中

グローバル化に対応した台湾人の人材を活用しませんか?

※社宅など不動産の協力が必要な場合、バックアップさせていただきます。

近年日本ではインバウンド事業が盛んとなり、グローバル化により外国人人材の需要が求められています。台湾には、将来性ある優秀な台湾学生が多く、その人材を活用する事で、グローバル化する日本社会に対応する事ができます。

臺灣新聞社では、台湾のインターンシップ生を必要とする企業様を募集し、グローバル人材の活用をサポートします。契約期間は1年間ですが、その後正社員雇用も可能です。詳細は下記までお問い合わせ下さい。

臺灣新聞

お問い合わせ先

☎03-5917-0045

📍〒171-0021東京都豊島区西池袋4-19-4

TAIWAN NEWS ◆ 東京発行

☎03-5917-0047

✉info@taiwannews.jp

台湾新聞

《台湾新聞》為民營媒體、非政府發行刊物、以中立立場報導所有台灣和日本最新資訊。所有新聞報導和新聞照片、非本公司同意、嚴禁轉載刊登。《台湾新聞》同時提供報導資料銷售服務、如個人、團體有需要、敬請多多利用並洽《台湾新聞》。此外、個人、僑社團體或企業有採訪需求、活動企劃、平面設計和廣告刊登等媒體服務、歡迎直接洽詢《台湾新聞》。



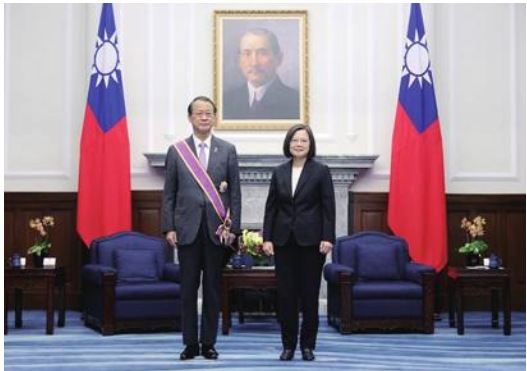
「台湾新聞」は民間企業運営による媒体です。政府の刊行物ではありません。あくまでも中立の立場より、台湾と日本の各種の最新情報を報道しています。本紙に掲載しているすべての報道内容及び写真は、当社の承諾を得ない転載などは禁止します。一方、台湾新聞は報道資料の販売などのサービスを提供しています。必要な個人及び企業、団体の皆様は当社へお問合せください。また、イベント企画、デザイン、レイアウト、広告掲載等のご依頼がございましたら、ぜひ当社にお問合せください。「台湾新聞」社は以下の有料サービスも提供しております。ご利用ください。

《台湾新聞》提供以下付費サービス：

- 企業広告配合、僑社活動採訪
- 僑社團體網路部落格設計(包含台灣新聞採訪報導使用費用)
- 採訪照片提供
- 企業網站設計服務
- 企業広告、華僑会社イベント取材
- 華僑会社団体インターネットブログ設計(台湾新聞取材報道、使用費用を含む)
- 取材写真提供
- 企業ホームページ設計サービス

欲合作企業、僑團請逕洽《台湾新聞》
03-5917-0045或info@taiwannews.jp

蔡英文總統が 日本駐台代表に勳章授与



蔡英文總統、泉駐台代表に勳章授与(写真:日本台湾交流協会)
蔡英文總統は10月30日、日本の対台湾窓口機関、日本台湾交流協会台北事務所の泉裕泰代表に「大綬景星勳章」を授与した。蔡總統は「泉氏の日台関係に対する卓越した貢献を示すだけでなく、心からの感謝を表すものだ」と述べた。

泉氏は日本駐台参事官、外務省アジア大洋州局中国課長、日本駐台大使館公使を歴任して2019年11月に着任。この4年間に日台交流イベントや日本要人の台湾訪問などに顔を揃え、外交官として台湾で人気を得ている。近日中の離任が予定されている。

總統府内で行われた授与式で蔡總統は「この4年間、泉氏の協力の下で日台間は助け合い、新型コロナウイルスへの挑戦を共に乗り越えてきた。その上で交通や環境、司法などの分野で重要な協力協定を締結し、日台の交流より多面的で緊密なものにした」と泉氏を評価した。

また蔡總統は「泉氏が過去に日台の関係を『昏亡びて歯寒し』と表明したことや、協会のフェイスブック上で日本は『いつま

でも台湾のそばにいる』と表明したことなども振り返り、泉代表の功績をたたえた。

泉代表も挨拶に立ち「蔡英文總統から直々に立派な勳章をいただき、身に余る光栄であるとともに、望外の喜びです。この4年間、台湾の政府や経済界、文化界、様々な分野と人々の協力を得て、お互い本心に気持ちのよい仕事ことができました。日本のすぐ隣に台湾というかけがえのない友人が存在すること、奇跡のようなありがたさを身に沁みて感じるとともに、蔡英文總統はじめ、台湾の皆様に対して、今一度、心からの御礼を申し上げたい」と述べた。

なお、日本台湾交流協会のフェイスブックでは「この4年間、お疲れ様でした」や「泉代表最高」など、台湾人のコメントが殺到している。

景星勳章は国家や社会に優れた貢献をした外国人などに贈られる。1等から9等までの等級があり、今回授与された大綬は1〜3等に当たる。

てくてく台湾旅 94

松田義人(deco/編集者・ライター)

高雄・柴山に現存する旧日本軍の史跡に 行って来た

高雄・柴山の シークレットツアーとは！？

9月にまた台湾に行ってきました。コロナ禍で行けなかった取材がたまっており、約10日ほどの限られた日数で離島、温泉、ショッピング、さらに全然関係ない美姉の旅行ガイドなどをやりました。

滞在は南部が多かったのですが、行ったことがないところを巡ろうと、またいつもの台湾発の国内外の観光チケットを多く発券するサイト「KKday」(https://www.kkday.com/ja)を見ていると、「高雄柴山シークレットツアー」日本軍の史跡・史跡探訪」というものが目に入りました。高尾の柴山は別名・寿山と呼ばれ、有名な寿山動物園もこの裾にあります。全く知らなかったのですが、日本統治時代、この柴山に旧日本軍が基地やシェルターを構えていたそうで、こういった史跡を今日もお見せ回れると言います。所用時間は約3時間。これは興味深い！ 行ける！と、さっそく「KKday」に申し込みツアー当日を迎えました。

現地ツアースタッフとの待ち合わせは柴山近くのコンビニ。目的の時間に行くと、それらしきスタッフが待っていました。「打狗冒険王」というチームの孟憲徳さんと女性スタッフの方で、高雄人らしく気さくで親切な方でした。もちろん日本語も通じますので安心しましたが、少々ビビったのがその出立ち。孟さんは登山に使うようなトレッキングポールを持っており、ツアーに備えている様子でした。さらに恐ろしいことに孟さんはこうも言います。

「往復8キロくらいの山道を歩きます。松田さん、水は……1本では足りないからここで買っておいっほうが良いです。ええ！？そんなに激しいツアーだったのコレ。前日まで蘭嶼にいた僕は、肉体的にはかなりクタクタで、とてもじゃないですが、8キロもの山道を歩き続ける余裕なんて……とつい言いたいところでしたが、当の孟さんはやる気満々。「さあ、トイレを済ませてください。さっそく行きましょう」と、グングン柴山のほうへと向い、山の中へと続く急な階段を足早に駆け登っていくのでした。もちろん、女性スタッフの方も笑みを浮かべながらグングン登っていきます。僕はかなり息切れをしながら、ついていきました。



「コウモリが舞う旧日本軍のトンネルをグングン進んでいく孟さん」

「柴山は私たち 高雄人の誇りです」

急な階段を登り、さらに木の枝と枝を掴みながら道なき道をかき分けながら、柴山の中を巡りました。すぐ真横には野生の猿が歩いていたりしますが、孟さんは「気にしないで大丈夫」と言い、さらにグングン進み各地に遺る旧日本軍のトーチカ、シェルターなどを案内してくれました。

特にすごかったのが山間に遺る旧日本軍のトンネル跡。孟さんから事前に「そのトンネルは別名『ラブラブトンネル』と呼ばれています」と聞いていました。理由は地元の人たちが彼女を連れて訪れるのが流行っているとのことで「なるほど。さぞや綺麗な場所なのだろう」と思いましたが、中に入ると想像とはまるで違いつつ薄暗く無数のコウモリが飛び交っていました。

「何っこ、怖い！」とビビる僕を孟さんは笑い、スタッフの女性はコウモリを見て「かわいいね」と日本語で言います。コウモリ……かわいいっつーか怖いよ、本当に！

しかし、わずか約3時間でこれだけの史跡を巡ることができたのはかなり貴重な体験でした。そして地元のツアーに参加しなければまず辿り着くことができない場所ばかりでもありました。

そして、台湾が日本統治時代を終え、今年で78年になりましたが、こういった史跡が今なおこの地に遺り続けることに時空を超えたような気持ちになり、感動を覚えました。孟さんはこうも教えてくださいました。

「私たち高雄人は、街中にゴミが落ちていても何も言わない。でも、柴山にゴミが落ちていたらさぞ怒る。何故なら柴山は私たち高雄人の誇りだからです。だからこそ柴山の、日本統治時代の史跡も私たち高雄人がいままお大切に守り続けているのです」

トレッキング要素が強いツアーですが、体力に自信がある方には是非ともオススメしたいと思います。孟さん、スタッフの方の案内も素晴らしく、高雄の知られざる話やコミュニケーションも満喫できるはずですよ。

土地和房屋測量士の起源

1950年7月31日第8次臨時國會會議通過並頒布了《土地和房屋測量士法》。这一天也就成為了「土地和房屋測量士日」。它的起源可以追溯到明治時代，當時土地測量士駐紮在稅務局。由於明治初期的土地稅改革，納稅方式從實物繳納變為貨幣繳納，土地私有財產得到承認。日本全國範圍內統一、準確的土地測量工作存在一定難度，存在許多漏報、少報等缺陷，因此，應各稅務所長的要求，指派土地測量士來辦理土地和建築

物的測量和測量申報手續。據說這是土地和房屋測量士職業的開始。同時，1927年，信州松本稅務署的立法運動正在興起，1928年，植木庚子郎氏(後來的法務大臣)備用了當時分散在他管轄範圍內的大約240名土地測量士進行行業改革，授予土地測量士國家資格。此後雖然經歷了諸多波折，但針對戰後美軍軍事統治導致的議會形勢的劇變，政策發生了巨大轉變，並於1950年在國會順利通過。

本文作者: 黑澤事務所 黑澤



日本法律停・看・聽

【本專欄內容由黑澤事務所提供】



日本の台湾人— 故郷を失った台湾ニーズの物語

1945年に終わった第二次世界大戦により、台湾人が運命の分かれ道に直面した。今まで「帝国の臣民」であった台湾人が一転して中国人になったが、ほかの道を選んでそれぞれの運命を迎える台湾人もいた。本書は、政界、経済界、学界、芸能界分野などから、日本にたどり着いた台湾人を紹介している。

終章を除き、この本は五つの章で構成され、今まで台湾ルーツを持つ人物のファミリーストーリーを物語る内容だ。著者は報道機関の台北支局長という経歴を持つ事から、日本はもとより、台湾の文化、歴史を着実に読者に伝えられている点は、台湾人としてありがたい事だ。一番印象が残っているのは、政治界、食文化という二章に出てきた人物。台湾ルーツを持ちながら、まったく異なっている道に踏み出したところだ。自身の台湾ルーツを隠そうとする蓮舫と安藤百福と、日本に暮らしながら台湾ルーツを活かしていた辜寬敏と羅邦強が鮮明な対比例だ。

私は彼らが選んだ道を肯定も否定もしたくない。20世紀末に生まれた私にとって、当時はどう考えてこの決断を下したのかをわかるはずもな

い。本書の「自分は台湾人なのか、日本人なのか、中国人なのか」という疑問を抱えている描写は興味深い。

台湾人は中国と日本に複雑な感情を持っている。19、20世紀にわたって台湾は大国間の折衝により、清国に捨てられ日本帝国の臣民となり、日本統治時代には日本人扱いでなく、あくまで「植民地の民」として扱われた。それが日本時代において台湾人の抗日運動が盛んになった一つの要因だった。

2012年に台湾俳優周渝民さんらが主演したドラマ「回家(仮訳:家に帰ろう)」では、日本軍医として中国戦場に派遣された台湾医師が、戦場で中国軍人を助けようとした際に「日本人に助けられるか」と叱られた時「僕は日本人じゃない、台湾人だ!」と返事したというシーンに印象が残った。この一言は、当時の台湾人の心境をはっきり表した象徴でもある。日本に残った台湾人や戦後日本に移住した台湾人は、恐らく苦渋の決断を強いられたのだろう。しかし著者の表現は、こうした状況に直面した台湾人だからからこそ、台湾ルーツの長所を発揮しながら、戦後の日本を生き延びてきたと論じている。安藤百福や蓮舫の物語からの例えでも、台湾ルーツなりのファミリーストーリーをこっそり描いている。

「え?今の日本って、この辺は台湾文化に影響されたんですか」という感想が楽しめる。必読の一冊と言える。

読者プレゼント企画

台湾新聞をご覧の皆様の中から抽選で1名様に本書「日本の台湾人—故郷を失った台湾ニーズの物語」をプレゼント致します!応募方法は、ハガキに応募券の切り抜きを貼り付け、お名前、ご住所、お電話番号及び台湾新聞へのご意見ご感想を明記のうえ、台湾新聞編集部までお送りください。当選のご連絡は発送をもって代えさせていただきます(11月中に発送予定)。締切り:11月15日(消印有効) 株式会社台湾新聞社編集部 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4 / tel:03-5917-0045

台湾新聞318号読者プレゼント

応募券

相続・贈与・登記・国際税務
黒澤合同事務所グループ
1972年創業

| | | |
|----------------------|---|--|
| 【司法書士】 不動産登記、会社登記 | 【土地家屋調査士】 房屋新建・拆除、 土地分割・合併、 測量全般 | 【公認会計士】 事業計画・股價估算、 向外資企業提供各項、 服務的國際業務 |
|----------------------|---|--|

人員招聘(台灣人歡迎)※詳情見下文

東京都中野区中野4-4-11
会長 黒澤 功記
社長 黒澤 功栄

kurosawa@kurosawa.gr.jp
https://www.kurosawa.gr.jp
大代表: 03-3388-9638
中文服務專線: 03-3388-2520 (程)

無量壽佛 2023年【癸卯年】

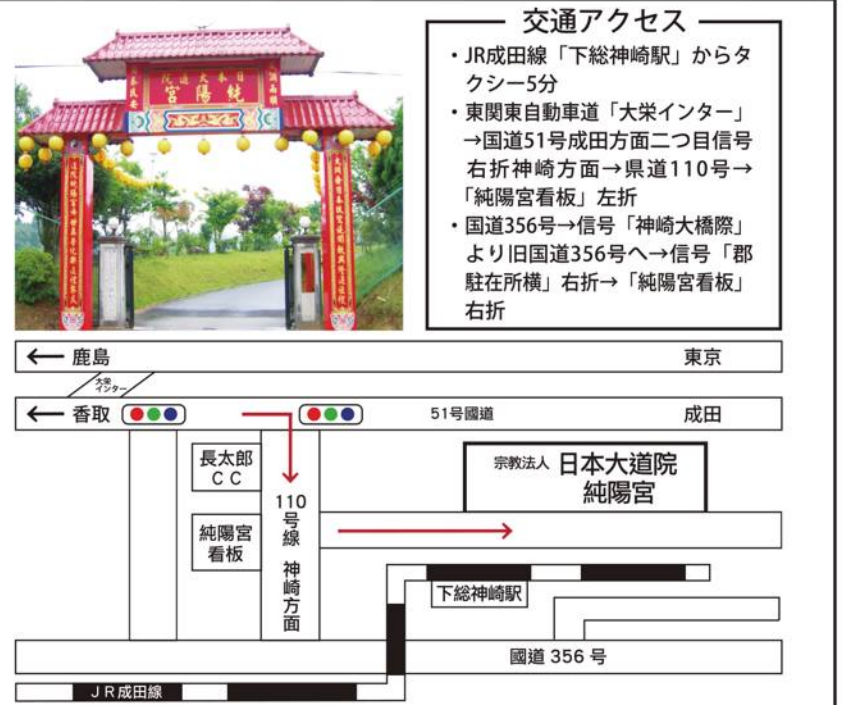
歡迎安奉太歲灯・光明灯

每月農曆初一、十五日犒軍敬拜(上午11:00)

本宮備有接送車輛，有需要者，請在前一天事先聯絡。JR成田空港駅第二航廈出口35号對面

宗教法人 日本大道院純陽宮

〒289-0216 千葉県香取郡神崎町植房950-1
TEL:0478-72-1068或1899 FAX:0478-72-1089
董事長 玄駿 執行董事長 玄胡明信



「企業全球化布局 前進台灣資本市場」研討會 吸引日本臺商踴躍參加



紀念合照

【東京/採訪報導】由臺灣證券交易所、康和綜合證券、資誠聯合會計師事務所聯合主辦，一般社團法人日本國際交流協會協辦的「企業全球化布局 前進台灣資本市場」研討會於10月24日，在東京隨園別館盛大舉辦。主辦方由臺灣證券交易所的經理袁正華、康和綜合證券的副總經理呂素玲、資誠聯合會計師事務所的執業會計師蔡亦臺出席，貴賓則有駐日代表處經濟組組長林春壽、日本台灣商會聯合總會總會長錢妙玲、世界華商經貿聯合總會日本分會會長陳慶仰，以及許多在日臺商、日本友人都紛紛參

加，活動開始前就非常熱絡。臺灣證券交易所經理袁正華致詞時表示，這次是為了向日本的各位介紹最近臺灣資本市場的最新情況，特別是近日臺灣推出了「創新版」板塊，其主要是為了讓尚未盈利的新創企業，在滿足特定條件下，提供他們發展所需資本。他也提到，臺灣未來的重點投資項目落在數位雲端、生技產業、IT與再生能源，歡迎對前進臺灣市場的人一起交流。日本台灣商會聯合總會總會長錢妙玲表示，過去大家都以為中小企業要上市是一件非常困難的事情，聽過袁經理的話，感覺在



致贈感謝狀給陳慶仰會長

座的各位未來都有機會成為上市上櫃公司的老闆。臺灣政府對企業的輔助與支援非常用心，自己之前參加僑委會舉辦的研習班，就接觸到很優秀的新創企業，那時候學員們也決定出錢出力幫助優質公司成長。

世界華商經貿聯合總會日本分會會長陳慶仰則說，世界華商經貿聯合總會會員以中小企業為主，很開心有這樣的機會，讓海外臺商了解臺灣市場的現狀。

駐日代表處經濟組組長林春壽表示，目前世界局勢的變動非常大，但對臺灣來說是危機也是轉機。臺灣與日本之間有堅固友誼，經貿往來也非常熱絡，臺灣在疫後期間因應半導體晶片需求帶動經濟成長，疫情結束後也沒有太大下滑，證明臺灣經濟發展程度相當穩定。

康和綜合證券副總經理呂素玲說，日本是康和非常用心耕耘的地區，目前在臺灣掛牌的唯一兩家日企都是康和協助上市的，公司



袁經理致贈紀念品給日總總會長錢妙玲

也有專門負責日本事務的同仁能為各位服務。這次看到這麼多臺商朋友出席，讓她感覺日本市場還是很有潛力。

資誠聯合會計師事務所的執業會計師蔡亦臺說，過去是外商來到臺灣投資，現在臺灣也逐漸走向國際，特別日本是臺灣重點投資地區。自己在協助日企於臺灣上市時，能感受到日本特有的匠人精神，期待未來能到更多優秀的日本企業來臺灣發展。

負責協辦活動的一般社團法人日本國際交流協會會長李奇嶽表示，雖然這次活動不能到現場，很高興能夠協助這一次活動的辦理，在日本有非常多的僑臺商，也希望大家未來能夠加強回臺投資，並且能夠回臺上市櫃，日本國際交流協會將來也會辦理更多的臺日交流活動，也希望大家多多支持。

本次專題分享總共有三場，分別是臺灣證券交易所郭乃瑜專員主講的「前進臺灣資本市場」、執業會計師蔡亦臺主講的「新企業

經營看見商機、翻轉危機變轉機」、康和綜合證券經理王心淇「談KY公司上市之現況及未來」。

郭專員介紹，臺灣證券交易規模世界第17大，根據專家分析，因為上市成本相較其他地方合理，因此很適合中小企業上市。她也介紹了一般上市與創板上市的條件，上市前企業應做什麼準備，提供給有意上市的聽者意見。

執業會計師蔡亦臺則重點介紹ESG時代的挑戰與台灣ESG永續治理的現狀。ESG指「環境、社會、公司治理」的新企業管理理念，企業經營的目的不再僅限獲利，而是抱有社會責任、環境永續等目標，投資人關注的對象包含了氣候、排碳等議題，唯有落實ESG，才能實現企業的永續經營。

王經理則說明了來自開曼群島(KY股)的上市公司為何來到臺灣市場，除了臺灣於2008年開放海外公司上市上櫃，上市的成本也比其他地方合理。她也分享了幾個由康和協助在臺灣上市的日資案例，表示目前有超過百家海外企業在臺灣完成掛牌，未來發展樂觀可期。

在研討會專題告一段落後，現場準備了豐盛的午宴招待到場貴賓。席間大家彼此交換名片，展開熱烈的交流。主辦方也在各桌安排同仁協助解惑來賓的問題，讓不少人表示今天的收穫非常豐富，活動也在依依不捨的氣氛下畫下句點。

世華年會首度移師海外並行分會交接 「大阪之夜」令人難忘



世華年會今年在日本大阪盛大舉辦 總計800餘人參加

【大阪/採訪報導】世界華人工商婦女協會(世華)年會，10月16日在大阪市內熱鬧開幕，首日晚會除邀請到僑委會副委員長阮昭雄、大阪辦事處處長洪英傑、世華總會長莊任維、世華關西分會創會會長俞秀霞、榮譽會長謝美香，以及世華關西分會前後任會長劉雯玲、林伊曼，還有來自世界各地世華姐妹和日本當地政商人士共計800餘人參加，場面盛大。

劉雯玲表示，這是史上第一次分會交接在世華總會上舉辦，世華關西分會在過去的日子裡，除積極舉辦會員聯誼，也協助政府推廣國民外交、敦睦僑團，及回饋社會公益，走過的這兩年裡有太多感激，她特別感謝大阪辦事處和在地僑胞鼓勵支持，讓世華關西分會能一起推廣僑務、增進臺日關係、提升臺灣能見度，也感謝俞秀霞創會總會長、謝美香榮譽會長，以及所有姐妹的指導，讓自己在兩年任期間能順利度過。



關西分會印信交接典禮

阮昭雄指出，每次參加都相當期待，因為跟大家的聚會是自己最快樂的時候，但他也打趣地說，自己也「怕受傷害」，因為怕沒有人找他拍照，但是今天來到現場發現大家都很熱情，而能參與這樣一場800多人的大活動，對大阪駐處也是經驗和意義重大。

洪英傑則首先恭喜新任的林伊曼會長，並指出她曾擔任關西分會副會長，相信在滿滿的服務熱忱下，一定能帶領日本關西華商婦



僑委會副委員長阮昭雄

女，繼續在歷任會長建立的基礎上，推動公益服務，協助政府推動國民外交，提升世華關西分會在日本社會能見度和影響力。

林伊曼則說，感謝所有世華姐妹共襄盛會，並表示自己將帶領第四屆團隊積極發展業務，展現日本關西分會價值，並以「老幹新枝、生機再現、堅持突破、創新合一」為目標，積極汲取前輩寶貴經驗，繼續發光發熱。

「執子之手，與子偕老」 第九屆牽手獎頒獎典禮 場面溫馨感人



世華第九屆牽手獎頒獎

【大阪/採訪報導】世界華人工商婦女企管協會(世華)，10月17日舉辦第九屆「牽手獎」頒獎典禮，現場匯集來自各分會近29對得獎夫妻，對對都成婚已久，而在本屆得獎者中，婚齡最資深的一對夫妻已經結婚五十餘年，最「資淺」的一對也有二十餘年婚齡，夫妻們在彼此的生命旅程之中，互相扶持陪伴，展現出愛的真諦，伉儷情深令人動容。

世華牽手獎在今年邁入第九屆，頒獎典禮於世華年會第二天下午舉行，典禮開始之前，所有受獎夫妻們還在教堂內一同合影，時隔多年再次一起穿上西裝婚紗，讓眾人彷彿又回到當年互許諾言，執子之手的那個時刻。

牽手獎的獲獎人，都是來自世華各分會的夫妻們，而這次日本分會則由錢妙玲和丈夫

山田弘樹獲獎，她與丈夫結婚已二十四年，彼此一同攜手度過生命中許多重要的時刻，在這段日子裡，有走過風雨同舟、患難與共的時刻，但更多的是彼此相愛相知的甜蜜溫情，從兩人臉上洋溢的幸福便可看出，如此鶼鶼情深令人羨慕，「牽手獎」當之無愧。

頒獎台上，由世華總會長莊任維授獎，同時，由於今年年會於日本大阪舉辦，因此也特別請到大阪辦事處處長洪英傑一同授獎，授獎場面溫馨感人，眾人隨後在台前一同合影，留下這難得的一刻，旋即便各自入座，準備迎接隨之而來的晚會，第九屆牽手獎也至此告一段落圓滿完成。



日本分會由錢妙玲和丈夫山田弘樹獲獎

Information

奧能登國際藝術祭
日程：2023年9月23日~11月12日(木曜定休)
会場：石川縣津市全域
本年度は、台湾を代表するコレクティブ「豪華朝機工」の作品が出品

台湾漫画史不思議旅行〜貸本屋さんと漫画の100年
日程：2023年10月6日~2024年2月12日
会場：明治大学米澤嘉博記念図書館、現代漫画図書館
営業時間：月曜、金曜 14:00~20:00
土曜、日曜、祝日 12:00~18:00



摩訶般若波羅蜜多心經
觀自在菩薩。行深般若波羅蜜多時。照見五蘊皆空。度一切苦厄。舍利子。色不異空。空不異色。色即是空。空即是色。受想行識。亦復如是。舍利子。是諸法空相。不生不滅。不垢不淨。不增不減。是故空中無色。無受想行識。無眼耳鼻舌身意。無色身香味觸法。無眼界。乃至無意識界。無無明。亦無無明盡。乃至無老死。亦無老死盡。無苦集滅道。無智亦無得。以無所得故。菩提薩埵。依般若波羅蜜多故。心無罣礙。無罣礙故。無有恐怖。遠離顛倒夢想。究竟涅槃。三世諸佛。依般若波羅蜜多故。得阿耨多羅三藐三菩提。故知般若波羅蜜多。是大神咒。是大明咒。是無上咒。是無等等咒。能除一切苦。真實不虛。故說般若波羅蜜多咒。即說咒曰。揭諦揭諦。波羅揭諦。波羅揭諦。菩提薩埵訶。

台灣開的美髮室

- 整髮 プロー 1,000 円
- 洗+吹髪 シャンプー+ブロー 1,800 円
- 剪髪 カット 2,600 円
- 染髪 カラー 6,000 円
- 調色 メッシュ 6,000 円
- 燙髪 パーマ 6,000 円

※長髪染、染、調色追加1000円
ロングヘアの場合はパーマとカラーとメッシュが千円を追加します。

千晶 Hair Salon

營業時間 10:00-19:00 電話予約制 090-3090-2988
東京都新宿区歌舞伎町2-45-5 新宿永谷ビル202室(東田 晶)

碧鳳水元宮

本宮宗旨、本宮の趣旨は、祈福消災、厄難を払い除け、祝福をする。指點迷津、迷津の指導(おまじなす)、批八字、祭改、四柱推命、厄祓い、心霊改革、心の改め、不欺不騙、欺くことなく、不驕不傲、傲慢せず、不遜で、正義取道、正義が導き、方為正道。正しい道である。宮主 羅祝英



● TEL:0426(67)7867 FAX:0426(67)7868
〒193-0834 東京都八王子市東浅川町537番52

火曜日定休日

日本僑界歡慶雙十

駐日代表處



駐日代表處國慶酒會

【東京/採訪報導】台北駐日經濟文化代表處於10月5日舉行中華民國台灣112年國慶，有不少日本政商界人士出席，包括自民黨副總裁麻生太郎、前首相安倍晉三夫人安倍昭惠等都到場，旅居關東地區的僑胞也出席踴躍，約有千人出席。

這次出席貴賓包括日本台灣交流協會會長大橋光夫、日華議員懇談會會長古屋圭司眾議員、立憲民主黨代表泉健太郎眾議員，以及自民黨、立憲民主黨、日本維新會、國民民主黨等國會參、眾議員共213位出席，茨城縣知事大井川和彥也遠道專程前來祝賀。日本前首相、現任自民黨副總裁麻生太郎眾議員親臨會場向謝長廷大使表達祝賀之意，前首相

安倍晉三夫人安倍昭惠女士也出席典禮並致詞。

此外，台灣友邦邦地馬拉、海地、馬紹爾及巴拉圭與理念相近國家駐日使節、日本各大媒體、各界重要貴賓及旅日僑胞等共約千位賓客來場致賀，場面盛大。

今年也是日華議員懇談會50週年，會長古屋圭司也表示，今年將會率領將近50位跨黨派議員赴台參加國慶，屆時也會舉著日台友好親善的布條參加國慶遊行。安倍昭惠也特別上台致詞，她表示，對台灣抱有情感的安倍雖然未能成行訪台，但她今年7月訪台參觀「安倍晉三紀念影像展」時，感受到台灣人民的溫暖。

大阪辦事處



紀念照

【大阪/採訪報導】欣逢中華民國一一二年國慶，台北駐大阪經濟文化辦事處於10月6日，在大阪市內舉辦國慶酒會，包括處長洪英傑、參議員滝波宏文、日本中華聯合總會會長羅鴻健、大阪中華總會會長郭重信，及日本政僑商各界計約三百餘人皆出席與會。

洪英傑在致詞時指出，李前總統登輝先生曾提出「臺日命運共同體」的概念，與安倍晉三前首相所講「臺灣有事即日本有事」的想法不

謀而合。他強調，通過疫情期間臺日間的互助，顯現了雙方可以一起挺過難關的能力，這也正是臺日間的互助精神；而對於在今年的G7峰會中，曾談及臺海的和平和安全問題，他表示感謝，並再次重申我國主權。

酒會最後，大阪中華總會郭重信會長上台致詞，感謝所有一路以來愛護中華民國、促進臺日關係的夥伴，也為是晚的國慶酒會畫下完美的句點。

橫濱辦事處



橫濱辦事處酒會

【橫濱/採訪報導】台北駐日經濟文化代表處橫濱分處於10月4日舉辦中華民國台灣112年國慶活動，不少日本政商界人士、旅居關東地區的僑胞、日本友台人士都專程出席，這次宴會中有不少是特別使用日本水產的料理，在伴手禮方面除了有台南文旦外，還有金目鯛的拌飯料，展現出支持日本水產的決心。

這次橫濱辦事處的國慶酒會約有300多人出席，其中包括立法委員陳亨妃、18位日本國會議員，19位市町村首長、議會聯盟會長或議長，以及旅居關東地區的僑胞，日本各界人士等，場面非常盛大。

處長張淑玲首先分享台日在鐵道的交流，以及神奈川和靜岡地區許多友台議員聯盟成立、日本多次在國際提台灣發聲，對此也致上感謝。張處長也提到，這兩三年來日本對台灣的親近感、關心度都有大幅提升，同時台日也是有難互助的國家，不論是在疫情期間互相捐贈口罩和疫苗，台灣鳳梨遭中國禁運時，日本也提供很多援助，如今我們也要支持日本水產，這次宴會提供很多使用日本水產的料理，禮物也有台南的文旦，以及金目鯛的拌飯料來送給大家，也希望今後中華民國台灣與日本的關係能越來越好。

福岡辦事處



福岡辦事處舉辦國慶晚會

【福岡/綜合報導】福岡辦事處於10月6日晚間在日航飯店舉行中華民國112年國慶酒會及各縣市美食特產展示，由陳銘俊處長主持，來賓包括日本參眾議員、九州及山口地區政、商、僑、學界領袖等約450多人，場面隆重盛大。尤其本年有20多位國會議員及130多位副知事、縣議員、市町村行政首長及100多名工商大老、各大電視台高層及多位大學校長等親臨現場祝賀外，賀電更逾80多封，各界共同見證前所未見之台日熱絡友好關係。

自民黨總務會長森山裕眾議員大陣仗出席現場祝賀，場內歡聲聲此起彼落，酒會氣氛歡喜歡騰，與會場外戒備森嚴形成強烈對比。福岡歡喜合唱團獻唱兩夜花等台灣歌謠，撩起海外遊子思鄉情懷，掌聲淚水交錯。

陳處長致詞表示，全球疫情解封後的國際情勢發生劇變，而台灣在防疫、因應全球經濟重組及對抗中國威脅等種種挑戰，始終維持理性冷靜，並展現高度的韌性，讓國際社會看見台灣至關重要(Taiwan matters)，台灣的自信來自台灣人民對於國家主權的堅持及守護民主自由生活方式的決心，以及日本等國際友人之堅定支持。尤其出席貴賓以行動表達對台灣的堅定友誼，彌足珍貴。

駐福岡辦事處為積極推廣台灣觀光及促銷優質特產品，本年在會場外設置全台各縣市物產展區，吸引現場來賓高度興趣，反應非常熱烈。會後上述特產品以伴手禮分送，有吃有抓賓客無不盡興。此外，又有機票、住宿卷、禮品加持，國慶酒會在歡樂氣氛中圓滿落幕。

札幌辦事處



粘信士處長致詞

【札幌/綜合報導】札幌辦事處於10月6日在札幌市「Grand Hotel」舉辦慶祝「中華民國112年國慶酒會」，計邀北海道前知事參議員高橋春美、日本眾議員鈴木貴子、神谷裕、道下大樹、參議員岩本剛人等參眾議員及其代理人共18人、北海道副知事土屋俊亮、札幌市副市長町田隆敏等人蒞臨並致詞，道內各地議員90人，道內24位市町長、北海道日台親善協會連合會、各地日台親善協會會長、經濟界、教育界、媒體負責人、旅日僑胞及留學生，共計230多人出席，場面熱烈。

粘信士處長致詞時表示，新冠肺炎疫情告一段落，本年恢復往年規模，感謝北海道各界嘉賓不辭辛勞出席蒞臨；台灣與日本共享普遍價值，且站在對抗威權主義最前線，在經濟安全保障受到重視的現在，我國除生產世界92%先進半導體外，在資通生技領域亦扮

演重要角色；蔡總統本年出訪中美及非洲邦交國受到熱烈歡迎，證實互惠互助「台灣模式」之成功。

隨後高橋前知事、鈴木眾議員、神谷眾議員、道下眾議員、岩本參議員、土屋副知事致詞祝賀台灣112年國慶；高橋前知事表示，2009年本處設立後北海道與台灣交流更加深化，伊擔任知事期間曾訪台並贈我丹頂鶴，昨日出席駐日代表處國慶酒會謝大使提及台灣關心北海道水產品目前因中國禁輸遭遇困境，讓他深受感動，盼藉本處酒會再次表達感謝。

司儀另宣讀參眾議員及市町村首長賀電，會中並邀鋼琴親善大使道內知名音樂家手真氣獻唱日文知名曲目，並播放「眾志成城，台灣向前」短片，過程莊嚴隆重，最後介紹本年甫成立之北海道急難救助協會彭源基會長，及由僑會陳省仁會長致閉會詞後圓滿結束。

那霸辦事處



王瑞豐處長致歡迎詞

【沖繩/綜合報導】那霸辦事處在10月2日於嘉新酒店舉辦112年國慶晚會，由王瑞豐處長致歡迎詞展開序幕，沖繩縣議會議長赤嶺昇、眾議院島尻安伊子眾議員、中統協會石嶺傳一郎會長等亦上台致詞祝賀。晚會於當日20時由琉球華僑總會江夏祿榮會長致閉幕詞後完滿結束，約有180名與本處交流密切之當地政商文藝界人士及華僑等參加。

王瑞豐處長在致詞中提到，非常高興能看到台灣與沖繩之間透過人員往來，不但建立起堅固的友誼，也帶動了經濟的成長。此外處長表示，中國今年不斷舉行小規模的軍事演習，除

了軍事方面的壓力外，也透過假消息、網路攻擊與經濟手段不斷打壓台灣。處長說，台灣人並不渴望戰爭，但是會像烏克蘭人一樣堅定的守衛自己的家園，這也是為何政府近年來積極提升國防戰力、延長義務服役役期間的原因。

出席活動的眾議員島尻安伊子則稱讚台灣對於國防意識的高度敏感，指說台灣面對「有事」的準備，是值得日本學習的，和平不是一味等待就會有的結果，而需要採行積極準備的政策。沖繩縣議會議長赤嶺昇也稱讚，指台灣規定建物需要建立防空設施的義務非常好，日本應該要借鑒台灣的做法。

東京華僑總會



活動紀念合影

【東京/採訪報導】中華民國留日東京華僑總會與台灣留日東京同學會一同於10月8日舉辦慶祝112年國慶活動，這也是自從疫情爆發以後，睽違三年再度在東京中華學校舉辦國慶暨國慶活動，吸引不少僑胞、校友、日本民眾到場參加，駐日代表謝長廷也特別出席與大家同慶。

留日東京華僑總會會長蕭玉蘭致詞時表示，感謝歷屆會長和華僑前輩們的努力，一代接一代傳承，守護台灣的心、愛護台灣的心令人敬佩，未來東京華僑總會持續秉持宗旨和精神，團結僑界力量，促進經濟與外交，讓台日關係更加友好，最後也很高興睽違三年的國慶活動可以再度盛大舉辦。

台灣留日東京同學會會長廖春睿表示，在日本國慶日不再是假日，取而代之的是讓大家都團聚的日子，賦予我們在異鄉奮鬥的理由，思念起孕育我們的土地，因為台灣我們有共通點、共通情感，日本是異國、是他鄉，但我們聚在一起，日本就有像家的感覺。

過去三年因為疫情的緣故，留日東京華僑總會與台灣留日東京同學會雖然會持續舉辦國慶慶祝活動，但規模都只縮小到升旗典禮，伴隨疫情平息，過去園遊會的熱鬧場景也再度回到東京中華學校，再加上精彩的舞龍舞獅、歌唱表演，讓現場變得更加熱鬧滾滾。

大阪中華總會



大阪中華總會舉辦國慶晚會

【大阪/採訪報導】歡慶中華民國一一二年國慶，10月3日，中華民國留日大阪中華總會在大阪阪急國際飯店舉辦國慶晚會，除大阪辦事處處長洪英傑、大阪中華總會會長郭重信、日本中華聯合總會會長羅鴻健出席外，另有日本參眾、地方議員等政界人士，及僑界、留學生等超過三百人與會。

洪英傑致詞時首先歡迎眾嘉賓出席，並指出每年舉辦的「春節祭」，馬上就要舉行第22屆，邀請大家共襄盛舉。他說，臺日間有自由民主等共享價值，也希望大家繼續支持臺灣的國際參與，並祝臺日雙方、大阪中華總會及馬上到來的大阪萬博一切順利。

郭重信表示，今天是為慶祝中華民國一一二年國慶，感謝大家今天的到場共襄盛舉，並說大阪有許多在日臺人，臺日的交流交往也相當密切，將會持續推進臺日關係發展。

會前洪處長並頒贈感謝狀予大阪中華總會名譽會長洪里勝信，餐會開始後，眾人觥籌交錯，歡聲笑語此起彼落，都在共同慶祝著這個人們共同的「生日」，席間除有刺激的抽獎活動，更有大阪中華總會與大阪中華學校師生們，共同串連起的一系列精彩民族表演活動，更令晚會增光添彩，讓大阪中華總會的一一二年國慶令人更是難忘。



民主台灣 堅韌永續

橫濱華僑總會



遊行照

【橫濱採訪報導】橫濱僑界於十月三日及十日，分別在橫濱玫瑰飯店與橫濱中華街舉辦國慶晚會與遊行，駐日代表謝長廷、副代表周學佑、橫濱辦事處處長張淑玲、日本中華聯合總會會長羅鴻健，以及旅居關東地區僑胞、友台日方人士都專程出席，共同慶祝112年國慶。

橫濱華僑總會會長許耀庚表示，回首過往，先賢們以血汗締造現在的中華民國，橫濱華僑的先進也背井離鄉，經歷了怎樣的困難和奮鬥，才讓我們可以立足在這裡，所以不能忘記先人留給我們的恩惠，我們要承先啟後，更要發揚我們中華文化，為橫濱的下一代點亮心中燭光，這幾年我們祖國經歷總總困難與打壓，在這個情況下，只會讓我們更團結鞏固，會使自由民主的祖國發展更亮。

京都華僑總會



京都華僑總會慶祝國慶

【京都採訪報導】為慶祝中華民國一一二年國慶，中華民國留日京都華僑總會於10月2日，在京都大倉飯店舉辦國慶晚會，除大阪辦事處處長洪英傑、京都華僑總會會長魏禧之、日本中華聯合總會會長羅鴻健出席外，另有日本參眾、地方議員等政界人士，及僑界、留學生等近三百人與會，現場眾人齊唱中華民國國歌，並有表演及抽獎活動，場面隆重盛大。

魏禧之表示，受疫情影響，這是睽違四年的國慶晚會，感謝各方的盛情出席，他也說臺灣的半導體在世界供應鏈中相當重要，而在觀光方面，更在「想去的國家」中位列第二，呼籲大家讓中華民國臺灣是一個友邦的國家，同時也請日本各界繼續一同守護中華民國臺灣。

神戶華僑總會



神戶華僑總會

【神戶採訪報導】中華民國留日神戶華僑總會本(10)月5日在神戶市內舉行「中華民國(台灣)112年雙十國慶慶祝賀會」，祝賀112年雙十國慶，現場邀請到大阪辦事處處長洪英傑、神戶華僑總會會長高四代，以及包括日本社政、僑界各方，總計近三百餘人到場。會中並有精彩的川劇「變臉」表演，及魔術戲法，令人看得目不暇給，也有刺激的「機票爭奪」環節，現場氣氛熱鬧盛大。

晚會旋即在大阪中華總會會長郭重信帶領眾人「乾杯」中開始，席間有精彩的川劇「變臉」表演及魔術戲法，讓現場無論是大人小孩，都看得目不暇給。活動也在眾人的歡笑之中，為是晚畫上完美句點。

千葉中華總會



千葉中華總會

【千葉採訪報導】千葉縣中華總會於十月十四日在幕張總店飯店舉辦112年國慶慶祝會。包含駐日代表謝長廷、僑務組副組長宋惠芸、友台日方人士則有眾議員田嶋要、參議員白井正一等一起共襄盛舉，各地僑領也紛紛出席，超過120人一起歡慶中華民國國慶。開場眾人齊聲高唱中華民國與日本國歌，場面莊嚴盛大。

會長濱田裕子致詞時，首先感謝在場所有人對千葉中華總會會務的支持。千葉中華總會歷史悠久，端賴各位華僑前輩的努力下，讓千葉中華總會跨越無數的困難，成功搭建起台灣與日本友誼的橋樑。

大家在享用美食之餘，也高興地暢談、交換彼此的生活近況。會中也舉辦了抽獎活動，現場來賓參加踴躍，整個慶祝活動在一片熱烈的氣氛下畫下圓滿句點。

名古屋華僑總會



名古屋華僑總會

【名古屋綜合報導】中華民國留日名古屋華僑總會於10月7日舉辦「中華民國(台灣)112年雙十國慶晚會」活動，大阪辦事處處長洪英傑、僑務秘書楊慧萍、眾議員牧義夫、參議員安江伸夫、名古屋市會日台議員聯盟會長藤田和秀及十餘名議員，以及僑胞僑領等約90人出席。

會長石貴容於致詞時表示，名古屋華僑總會長年以來致力於深化台日關係，也希望藉由這次的國慶晚會讓台日關係有更進一步的發展。洪英傑處長表示，名古屋華僑總會是愛知縣唯一僑團，並長年來支持中華民國台灣政府，希望未來可以繼續廣納人才、僑青，同時透過活動凝聚僑心，繼續促進台日交流活動，讓總會持續發展。

今年僑務委員會也贈送名古屋華僑總會三太子，並於這次國慶晚會中展示，讓出席的來賓都爭相與三太子合影留念，活動最後則由進委員中山明峰致閉幕詞，會活動畫下圓滿句點。

埼玉台灣總會



埼玉台灣總會

【埼玉採訪報導】埼玉台灣總會於10月28日舉行中華民國112年國慶慶祝賀會，會中除了有豐富的美食教搖，還準備了各式各樣的表演與抽獎活動，現場熱鬧滾滾。包括埼玉縣當地政要，以及旅居關東地區的僑胞，約有100多人出席。

會長李炳東表示，很高興與今天大家齊聚一堂，來參加埼玉台灣總會舉辦的國慶慶祝賀會。感謝政府在這個世界局勢不穩定的時刻，能夠持續落實各項改革，厚植國力，讓台灣在國際間的角色越來越重要，備受肯定，並激憤大喊「Taiwan Can help」，獲得極大掌聲。

四國華僑總會



四國華僑總會

【愛媛採訪報導】中華民國留日四國華僑總會於10月9日在愛媛縣松山市湯神社廣場舉辦慶祝中華民國112年雙十國慶升旗典禮，這次也是首度移師至愛媛舉辦，大阪辦事處處長洪英傑夫婦、僑務秘書楊慧萍也專程出席與僑胞同賀。

會長上島彰在致詞時表示，台灣和日本在經濟文化上有深厚的連結，且雙方擁有自由、民主、法治與共同的價值觀，在災難時也會互相伸出援手互相幫助，這樣的台日關係是無法取代，也是世界上少有的典範。

四國華僑總會從2020年起開始舉辦升旗典禮，之前分別在香川縣、高知縣舉辦升旗典禮，都獲得好評與肯定，今年移師愛媛後，上島會長也表示明年預計會移師到德島縣，讓四國各地都飄揚著中華民國台灣的國旗。

山梨台灣總會



山梨台灣總會舉辦國慶慶祝賀會

【山梨綜合報導】山梨台灣總會於10月29日舉辦中華民國112年國慶慶祝賀會，這次出席的來賓有駐日副代表周學佑、眾議員中谷真一、眾議員堀內詔子、笛吹市市長山下政樹、日台國際交流促進會會長白壁賢一等人，以及日本中華聯合總會會長羅鴻健等僑領。

山梨台灣總會會長林美鄉致詞時表示，今年同時也是山梨台灣總會創立20周年，讓她不由得心曠神怡。今後她會堅持傳承的任務，吸收年輕會員入會，為世代傳承打造良好基礎。

茨城臺灣總會



茨城臺灣總會112年國慶慶祝賀會

茨城縣臺灣總會於10月22日在水戶京城飯店舉辦112年國慶慶祝賀會，福島伸享眾議員、加藤明良參議員、堂込麻紀子參議員、笠間市山口伸樹市長等多位當地政要、日本中華聯合總會會長羅鴻健、林月理僑務委員、中華民國留日東京華僑總會名譽會長林學明等僑領及當地僑民踴躍參加，共同慶祝國家生日場面，駐日副代表周學佑、僑務組副組長宋惠芸應邀出席，共襄盛舉。

茨城縣臺灣總會會長田川莉紗致詞感謝大家特地出席，大家齊聚一堂，共同慶祝國家生日。

祝賀會在羅鴻健會長引領乾杯後正式開始，出席人員在樂烈慶祝國家生日之餘，也高興地暢談、交換資訊；會中舉辦抽獎活動，炒熱現場氣氛，整個慶祝活動在一片熱烈的氣氛下畫下圓滿句點。

新潟縣中華親睦總會



新潟縣中華親睦總會

新潟縣中華親睦總會於10月28日舉辦中華民國112年雙十國慶慶祝賀會，一年一度盛會，為了慶祝國家生日，當地僑民及來自臺灣的留學生出席非常踴躍，駐日副代表周學佑、僑務組副組長宋惠芸應邀出席，共襄盛舉。

活動一開始為故會長祐木徹等3位辭世僑界先進默哀。隨後副會長室賀秋燕致詞表示，祐木會長在本年6月間去世，還有幾位僑界先進也先後離世，感到萬般不捨，室賀副會長也提到最近國際局勢騷動，俄烏戰爭還沒結束，又發生以巴衝突，感覺和平生活隨時會消失，尤其臺灣又面對中國恐嚇，此時海內外臺灣人更要團結向心，齊心支持臺灣。

餐會在乾杯儀式後正式開始，主辦僑團特別安排陳柏宇於現場演奏鋼琴，大家在輕鬆的音樂中，愉快地交流，享受這難得的相聚時光。

新廣島中華總會



新廣島中華總會

【廣島綜合報導】中華民國留日新廣島中華總會於10月8日舉行雙十國慶慶祝賀會活動，大阪辦事處處長洪英傑夫婦、僑務秘書楊慧萍，以及廣島市日台友好議員協議會會長山路英男、廣島市議會議員定野和廣、棕木太一，以及園市政府社會局副局長陳茹文及僑學界、友台日方人士約50人出席。

會長楠田季美致詞時表示，今年五月七大工業國組織(G7)峰會在廣島舉行，岸田首相與其他國家元首一同參觀廣島和平紀念資料館，了解和平是各國共同的核心利益，相信台灣也有能力和意願協助國際社會作出貢獻。洪英傑處長致詞時則感謝新廣島中華總會每年舉辦雙十國慶慶祝賀會，並長年支持中華民國台灣政府。

晚會中也安排了薩克斯風演奏耳熟能詳的台日曲目、抽獎活動及台灣留學生自我介紹，讓祝賀活動變得熱鬧滾滾，最後則由桃園市政府社會局副局長陳茹文致閉幕詞讓活動圓滿結束。

宮城縣臺灣總會



宮城縣臺灣總會慶祝雙十國慶

宮城縣臺灣總會於10月29日中午舉辦慶祝中華民國112年國慶餐會，為了慶祝國家生日，當地僑民踴躍參與這難得的盛會，台北駐日經濟文化代表處顧問張瑞麟應邀出席，與僑民共同慶祝國家生日。

宮城縣臺灣總會會長郭安雄致詞表示，受疫情影響，近3年沒有舉辦大型活動，因為日本政府將新冠肺炎調降等級，未來將陸續規劃活動，首先就是11月上場的東北六縣親睦會，希望大家踴躍參加。

日本臺灣商會聯合總會青商會講座 學習日本酒文化與商務領域關係



【東京／採訪報導】日本臺灣商會聯合總會青商會於10月21日舉行「日本酒知多少？商務精英必知的日本酒基礎知識」講座活動，邀請到專業講師分享各項日本酒的知識，讓青商們了解到日本酒與商務交際的關聯性，日總總會會長錢妙玲、名譽總會會長新垣旬子，以及駐日代表處僑務組副組長宋惠芸也出席與青商們共襄盛舉。

日總青商會會長林德偉表示，日本酒是日本的代表之一，在日本很多商業場合都會有品嚐日本酒的機會，因此具備日本酒的文化



林德偉會長致詞
手中接棒，將商會持續傳承下去，以及促進台日關係的友好。

僑務組副組長宋惠芸則為青商們介紹僑卡的優惠與好處，她也提到，今天的講座真的是獲益良多，也很謝謝青商會的安排，特別是大家生活在日本，就必須多了解日本的文化，對於未來商業推廣一定會有幫助，同時也歡迎大家邀請更多朋友一起加入青商，讓大家可以認識更多同齡的朋友，大家憶起在日本努力、互助，若有需要幫助也可以隨時與僑務組聯繫。

除了日本酒的講座和試飲，日總青商會也特別安排台灣料理餐廳外送，讓參加者們可以一嚐家鄉味，滿滿的臭豆腐、鹹酥雞、炸排骨、炒米粉一端上桌，就獲得大家熱烈反響，年輕人們也利用難得的機會互相交流、認識，讓身在異鄉的大家多了一同奮鬥的朋友。

蔡總統出席國慶晚會 目總一起共襄盛舉



【東京／綜合報導】蔡英文總統10月8日晚間前往臺南出席「112年『民主台灣·堅韌永續』國慶晚會」時表示，過去7年多來，政府推動國防改革、落實國防自主，展現我們守護國家的決心。總統也感謝國人團結和堅韌的精神，克服疫情挑戰，並貢獻良善力量，協助各國對抗疫情，促進區域的繁榮發展。期盼未來，我們持續以堅韌的腳步邁向永續的臺灣，也讓世界看見民主的臺灣。

今天現場下著大雨，但是與會者熱情不減，讓總統十分感動。由於今年國慶晚會選在臺南空軍基地舉行，舞臺兩邊圍繞著國軍的各式先進戰機，總統表示，就像我們的國軍兄弟姊妹，時時刻刻堅守崗位，在國人身邊守護著我們國家，她要再次感謝國軍辛勞。

總統提到，過去7年多來，政府推動國防改革、落實國防自主。國艦國造的「海鯤軍艦」已經完成下水典禮；國機國造的「勇鷹號」也已經交機了20架，這更代表我們守護

國家的決心。今年國慶的主題是「民主台灣·堅韌永續」，這次國慶晚會選在臺南舉辦，也是格外具有意義。臺南是臺灣第一座發展的城市，明年就是建城四百年；今天的臺南，不但有文化，更有著高科技的產業。

總統說，今天現場也有許多僑胞朋友，她除了歡迎大家回國，也感謝僑胞們在海外為臺灣拚外交。這幾天連假，很多人選擇在臺南度過，也有很多外國朋友到臺南體驗古城氛圍。在這裡，她要藉此機會向大家宣傳，明年臺灣燈會及臺灣文博會，都將在臺南舉辦，也歡迎大家多多來臺南觀光。

日本臺灣商會聯合總會今年也特別組團，由總會會長錢妙玲擔任團長，在國慶期間回國參訪，並參加國慶晚會，除了有難得的機會可以近距離觀賞到臺南空軍基地的直升機等軍機以外，晚會的精彩演出也讓大家留下深刻印象，雖然後來空中不作美，下起雨來，但仍不減大家的熱情，直到最後才離開會場。

台灣租書店與漫畫的奇妙旅程 看見台灣漫畫發展與歷史



【東京／採訪報導】國立台灣歷史博物館在10月6日於日本東京明治大學米澤嘉博紀念圖書館暨現代漫畫圖書館展開「台灣租書店與漫畫的奇妙旅程」國際展，希望透過台灣的漫畫發展史，讓日本民眾看見台灣租書店與漫畫的變



台博館副館長莊佩樺與米澤嘉博紀念圖書館館長村上博有傳承，要如何展現出來，又要看出兩個國家不同的特色，剛好很妙的是台灣歷史可以透過漫畫帶出來，讓日本人更認識台灣。

莊副館長也說，米澤嘉博這其實是御宅族的聖地，收藏很多日本的漫畫，高達42萬冊，也收藏許多絕版的珍本，也把鎮館之寶拿出來一起展覽，跟北九州不一樣的，是北九州比較大，比較好展覽，這邊是更深入，透過三個會期，把彼此的共同點、差異點顯出來，甚至還有很多鎮館之寶

願意跟我們一起展出。

展覽主題以「租書店(貸本屋)」為主，向日本大眾介紹百年來台灣的租書店與漫畫的發展，內容呈現台灣不同社會、政治變動下租書店的樣貌，包括：各時代流行漫畫類型、台灣武俠漫畫及審查制等特殊主題，介紹百年來台灣的租書店與漫畫的發展。

展覽分為三個時期，從「日本時代~1960年代」、「1960年代~1990年代」及「1990年代~現在」依序展出與定期換展，同時展示現場也以台灣圖像、日本漫畫分別呈現台灣、日本的

近代史，讓參觀民眾得以對照，更容易理解台灣、日本近代歷史脈絡與背景。

同時台博館為了配合這次國際展並擴大推廣漫畫，自10月14日起特別規劃2日的台日漫畫國際論壇及3場租書店主題講座，其中租書店講座特別挑選展覽中所介紹的台灣3間特色租書店：白鹿河師大店、萬隆租書店及YAOI會社，以線上中日逐字口譯直播導覽，讓台日觀眾直接一窺台灣漫畫及租書店的发展歷程，期待以租書店吸引台日漫畫觀光的風潮。

DAISANGEN 未来を共に創造する

買賣 · 出租 · 管理

大三元在日本國內與海外都有強大的投資管道。配合顧客的要求，提供打造全程的服務。

株式会社 大三元 | 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4 | 03-5917-0727 | 03-5917-0047 | 08030136399 | info@dsgl40613.com | www.dsgl40613.com

| | | | | |
|---|--|---|---|---|
| <p>【賣買】土地</p> <p>新石垣空港 車で約30分</p> <p><販売価格> 相談</p> <ul style="list-style-type: none"> 住所：沖縄県石垣市宇伊原間山田原186番1地 建物構造：— 築年月：— 土地面積：35,699.00㎡(約10,798.86坪) 延床面積：— 現況：— 引渡：— | <p>【賣買】一棟ビル</p> <p>日本橋浜町プロジェクト</p> <p>原宿駅前 徒歩1分 人形町駅 徒歩7分 水天宮前駅 徒歩8分</p> <p><販売価格> 187,000 万円(税込)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住所：東京都中央区日本橋浜町2丁目43-4 建物構造：鉄骨造地上9階建 築年月：2022年3月 土地面積：(公簿)194.08㎡(約58.70坪) 延床面積：1,149.83㎡(約347.82坪) 現況：— 引渡：即引渡し可 | <p>【賣買】一棟ビル</p> <p>BXIビル</p> <p>原宿駅前 徒歩9分 渋谷駅 徒歩12分</p> <p><販売価格> 185,000 万円(税込)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住所：東京都渋谷区南平台町13-10 建物構造：RC造陸屋根地下2階付地上5階建 築年月：1991年11月 土地面積：300.00㎡(約90.75坪) 延床面積：1,056.21㎡(約319.50坪) 現況：空室 引渡：相談 | <p>【賣買】一棟ビル</p> <p>昇陽堂ビル</p> <p>原宿駅前 徒歩7分 西日暮里駅 徒歩11分</p> <p><販売価格> 55,000 万円(税込)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住所：東京都北区田端1丁目12-13 建物構造：鉄骨造地上4階建 築年月：1996年9月 土地面積：183.51㎡(約55.51坪) 延床面積：519.32㎡(約157.09坪) 現況：3、4階賃貸募集中 引渡：— | <p>【賣買】店舗</p> <p>ロードサイド店舗ウエルシア (WELCIA) 薬局</p> <p>北久里浜駅 徒歩34分</p> <p><販売価格> 35,550 万円(税込)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住所：神奈川県横浜須賀野山1丁目10-11 建物構造：鉄骨造合メッキ鋼板葺平屋建 築年月：2002年7月 土地面積：(公簿)2,108.58㎡(約637.85坪) 延床面積：鉄骨造合メッキ鋼板葺平屋建 現況：営業中 引渡：相談 |
| <p>【賣買】一棟ビル</p> <p>レオパレス keyakiya</p> <p>原宿駅前 徒歩6分</p> <p><販売価格> 32,800 万円(税込)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住所：埼玉県戸田市本町4丁目6番4号 建物構造：鉄骨造合メッキ鋼板葺地上3階建 築年月：2011年10月 土地面積：(公簿)433.05㎡(約130.99坪) 延床面積：626.04㎡(約189.37坪) 現況：— 引渡：— | <p>【賣買】一棟ビル</p> <p>北青山三丁目 空ビル</p> <p>原宿駅前 徒歩2分 明治神宮前駅 徒歩11分</p> <p><販売価格> 31,000 万円(税込)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住所：東京都港区北青山3丁目14番6号 建物構造：RC造アルミニウム鋼板葺地上3階建 築年月：1990年4月 土地面積：66.11㎡(約19.99坪) 延床面積：75.61㎡(約22.87坪) 現況：空室 引渡：— | <p>【賣買】店舗</p> <p>ロードサイド店舗</p> <p>原宿駅前 徒歩8分 南庄駅前 徒歩9分</p> <p><販売価格> 25,688 万円(税込)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住所：埼玉県本庄市銀座1丁目8-19 建物構造：鉄骨造合メッキ鋼板葺平屋建 築年月：2010年4月 土地面積：(公簿)3,474.50㎡(約1,051.04坪) 延床面積：1,030.17㎡(約311.63坪) 現況：賃貸中 引渡：相談 | <p>【賣買】一棟ビル</p> <p>神保町二丁目一棟店舗ビル</p> <p>原宿駅前 徒歩3分</p> <p><販売価格> 19,400 万円(税込)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住所：東京都千代田区神保町2丁目28-5 建物構造：SRC造陸屋根地下1階付地上4階建 築年月：1994年1月 土地面積：(公簿)42.97㎡(約12.99坪) 延床面積：169.02㎡(約51.12坪) 現況：空室 引渡：相談 | <p>【賣買】土地</p> <p>筑西市外塚土地 (コスモス薬品)</p> <p>原宿駅前 徒歩25分</p> <p><販売価格> 18,000 万円(税込)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住所：茨城県筑西市外塚512 建物構造：— 築年月：— 土地面積：(公簿)4,621.50㎡(約1,398.00坪) 延床面積：1,785.13㎡(約540.00坪) 現況：— 引渡：— |
| <p>【賣買】一棟ビル</p> <p>T's Cuore 西荻窪</p> <p>原宿駅前 徒歩8分</p> <p><販売価格> 16,500 万円(税込)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住所：東京都杉並区西荻北3丁目38番4号 建物構造：木造スレート葺地上2階 築年月：2022年12月 土地面積：177.72㎡(約53.76坪) 延床面積：157.77㎡(約47.72坪) 現況：— 引渡：— | <p>【賣買】土地</p> <p>西荻窪駅 徒歩4分</p> <p><販売価格> 7,880 万円(税込)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住所：東京都杉並区松庵3丁目26-31 建物構造：— 築年月：— 土地面積：75.22㎡(約22.75坪) 延床面積：— 現況：— 引渡：— | <p>【賣買】一棟ビル</p> <p>Brilliant</p> <p>原宿駅前 徒歩9分</p> <p><販売価格> 5,200 万円(税込)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住所：愛知県豊橋市弥生町字西豊和44番5号 建物構造：木造スレート葺地上2階建 築年月：2019年12月 土地面積：(公簿)168.29㎡(約50.90坪) 延床面積：184.03㎡(約55.66坪) 現況：満室賃貸中 引渡：— | <p>【賣買】一棟ビル</p> <p>メイコーハイツ坂戸</p> <p>原宿駅前 徒歩15分 坂戸駅 徒歩17分</p> <p><販売価格> 4,550 万円(税込)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住所：埼玉県坂戸市東町2丁目16番3号 建物構造：木造スレート葺地上2階 築年月：1997年5月 土地面積：(公簿)193.59㎡(約58.56坪) 延床面積：152.08㎡(約46.00坪) 現況：— 引渡：— | <p>【賣買】一棟ビル</p> <p>メゾン岩瀬</p> <p>原宿駅前 徒歩15分</p> <p><販売価格> 3,280 万円(税込)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住所：茨城県桜川市富士見台1丁目8番地2 建物構造：木造瓦葺合メッキ鋼板葺地上2階 築年月：1991年3月 土地面積：(公簿)332.05㎡(約100.44坪) 延床面積：204.12㎡(約61.74坪) 現況：満室賃貸中 引渡：— |



世華關東分會創會大會 鄭玉蘭家望所歸擔任創會會長



關東分會姊妹們入會宣誓

【東京/採訪報導】世界華人工商婦女企管協會日本關東分會創會大會，於10月22日於東京大都會飯店盛大舉辦。含世華總會會長莊佳維、榮譽總會會長施郭鳳珠、陳上春、黎淑瑛、劉琺綺、陳軒蕙、副總會會長林淑敏、陳玲華、俞秀霞，以及世華各地分會的會長紛紛遠道而來共襄盛舉。

典禮上，由莊佳維總會會長代表世華總會，向日本關東分會的創會會長鄭玉蘭頒發會旗、宗旨旗、印信等信物，象徵整個世華姊妹們，歡迎關東分會參與到這個大家庭。

總會會長莊佳維致詞時表示，歡迎關東分會的姊妹們加入世華的大家庭中。她指出，新分會的理事們將與鄭會長承接世華成長的責任，感謝曾經擔任日本分會會長的鄭會長出面接下這個重任，鄭會長不但個人事業有成，也是世華華冠獎的得主，在公益活動上也有卓越貢獻。

榮譽總會會長施郭鳳珠則帶領所有關東分會成員進行宣誓，歡迎大家正式加入世華姊妹當中。她在致詞中說，鄭會長是一位非常了不起的人，多虧副總會會長等世華姊妹拜託，終於決議接下關東分會會長的的重責。相信在鄭會長帶領下，關東分會發展能蒸蒸日上。

創會會長鄭玉蘭致詞時說，首先感謝大家遠道而來參加典禮，自己投入世華這個大家庭以來，認識了世界各地優秀的姊妹們，證明女性在工作領域上也能獲得優秀成就。自己從事許多台日交流活動，很榮幸這次接下關東分會創會會長的職責，並透露自己的理想是讓世華繼續在日本開花結果。

緊接著創會典禮登場的懇親會上，邀請到了駐日代表處副代表周學佑、橫濱辦事處處長張淑玲，日本參議員西田實仁、片山泉月，以及眾多



總會會長見證日本分會會長由紀秋美交棒給尹世玲



總會會長莊佳維授予鄭會長印信僑領出席，場面相當盛大。

副代表周學佑首先代表僑務委員會委員長徐佳青，向鄭會長頒贈賀狀，期待世華日本關東分會能蒸蒸日上。他說鄭會長是自己的老朋友，每次見到她都能感受到她相當溫暖，相處起來如沐春風，這次在萬眾矚目下接任創會會長角色，實在是眾望所歸。

活動由嘉賓們舉行開鏡儀式後正式開始，伴隨精緻美味的佳餚與美酒，現場的來賓與世華姊妹們打開心扉，場面非常的熱鬧溫馨。在場所有的世華姊妹們在總會會長莊佳維的率領下，再次鼓掌歡迎日本關東分會的姊妹們加入世華大家庭，活動順利劃下句號。

世華日本分會舉辦會長交接儀式 世華姐妹踴躍出席觀禮



世華日本分會團體合照

【東京/採訪報導】世界華人工商婦女企管協會日本分會，於10月22日於東京大都會飯店盛大舉辦第十屆與第十一屆會長交接典禮。含世華總會會長莊佳維、榮譽總會會長施郭鳳珠、陳上春、黎淑瑛、劉琺綺、陳軒蕙、副總會會長林淑敏、陳玲華、俞秀霞，以及世華各地分會的會長紛紛遠道而來共襄盛舉。

活動首先，由總會會長莊佳維見證日本分會會長職務，由第十屆會長紀秋美正式交棒給第十一屆會長尹世玲。她致詞中首先感謝日本分會在日本，替世華總會承擔開枝散葉的責任，分別在2017年與2023年指導日本關西分會與關東分會創會。日本姊妹中誕生了五位世華最大獎項華冠獎的得主，而且有許多姊妹在僑界、商界表現活躍，特別是日本台灣商會聯合總會歷任會長，就有不少世華姊妹，也感謝日本分會在公益領域上的卓越貢獻。

名譽總會會長黎淑瑛帶領日本分會新任理事宣誓，名譽總會會長劉琺綺帶領日本分會新會員完成

入會宣誓。她們都表示，過去參與世華的活動，因緣際會與日本分會的姊妹們有許多交流，對日本有非常良好的印象，祝福日本分會未來會務順利。

新任會長尹世玲致詞說，當總會會長把肩帶批到自己身上時，感受到當中代表的重大責任。她首先恭喜即將擔任關東分會創會會長的鄭玉蘭會長，也祝福關東分會的姊妹們未來發展順利。

懇親會上首先放映副總統賴清德的賀賀影片，副總統表示非常感謝紀秋美與尹世玲兩位會長，帶領日本的世華姊妹們大力促進台日國民外交。感謝世華在過去大力支持台灣產鳳梨，多虧世華姊妹們，讓台日友誼能堅如磐石，也祝福這次大會圓滿成功。

活動由嘉賓們舉行開鏡儀式後正式開始，伴隨精緻美味的佳餚與美酒，現場的來賓與世華姊妹們打開心扉，場面非常的熱鬧溫馨。來自世界各地的世華姊妹們相約明年的台北年會再見，為活動劃下完美句點。

在日台灣原住民連合會組團返台 拜會原民會參加國慶活動



【東京/綜合報導】在日台灣原住民連合會於10月組團訪台參訪，並參加國慶活動，訪團於10月11日拜訪原住民族委員會，主委夷將Icyang也特別親自接待，並感謝原住民連合會將原住民族文化呈現給日本大眾，讓更多人認識台灣原住民。

今年原民會補助原住民連合會在東京舉辦豐年祭，同時結合台灣festa辦理，將Lima原選的精選

商品於活動現場展示，主委夷將Icyang也表示，原民會將持續支持原住民連合會在日本辦理原住民族文化活動，也鼓勵聚集更多的旅日族人，將台灣原住民族多元的文化呈現給日本大眾，讓更多人認識台灣原住民族。

創會會長米田華繪也表示，原住民族最能代表台灣，希望透過台日原住民族產業的結合、文化



夷將 Icyang 主委(右)與潘美如會長(左)(原民會 FB)



在日台灣原住民參加新莊區原住民傳統歲時祭儀活動合作，將各族的傳統文化在日本傳承下去。

這次訪團也走訪許多地點，像是參加國慶活動及新莊區原住民傳統歲時祭儀活動等，潘美如會長除了感謝原委會的幫助和理監事的一起努力，也表示這次在日台灣原住民連合會返台之旅是大豐收而回，也感謝僑界的前輩們的支持和鼓勵，當我們在困難的時候給予指導，希望未來能繼續給予在日台灣原住民連合會支持。

北陸台商聯誼會參加冰見食彩祭 用美食宣傳台灣



北陸台商聯誼會參加冰見市食彩祭冰見市長林正之也到攤位上光顧

【富山/綜合報導】富山縣冰見市於10月29日舉辦食彩祭，為了加深日本民眾對台灣印象，北陸台商聯誼會也特別出攤，販售台灣的炸雞排、炒麵等各式各樣的料理，吸引不少當地民眾前往品嚐台灣味，冰見市市長林正之也特別前往攤位光

顧，成功促成台灣與富山的交流。

會長島田惠表示，北陸台商聯誼會的成員中有不少是經營餐廳，因此想透過這次參加冰見市的食彩祭販售台灣料理，藉此讓當地民眾能透過美食認識台灣，也很感謝大家的捧場，讓攤位的生意非常好，尤其看到大家品嚐料理後滿意的表情，就代表著他們的辛苦是值得的，未來北陸台商聯誼會也會持續推廣台灣，讓更多日本民眾喜歡上台灣。

冰見市的食彩祭每年都會在10月底左右舉辦，一般都是販售當地的名產，或是由當地的料理店出攤，同時也會安排各式節目演出等，這次也是北陸台商聯誼會第二次參加食彩祭，特別準備了像是台灣的炸雞排、地瓜球、湯圓、炒麵等料理，難得的台灣料理也吸引日本民眾排隊，增加台灣在富山的知名度。

想學日語嗎

熱烈歡迎 台灣學生

位於大阪市中心的四棟校舍
大阪外語學院成立 32 周年。有四棟交通便利的校舍迎接你的到來。

歡迎短期留學
除了以升學為目標的日語學習班外，我們根據學生的需求，提供從日常生活會話到商務日語的親切指導。歡迎短期留學，對住在日本的學生提供優惠的課程。

附設升學指導補習班
附設升學補習班 AIM 日進學院，講師陣容來自東京大學、大阪大學、慶應義塾大學等。並取得出色的錄取成績，包括大阪大學、大阪市立大學、同志社大學、東京理科學等。



我在二十多歲創辦學校，在撫養三個小孩的時，作為許多留學生在日本的母親，我照顧過許多國際學生，對於父母擔心孩子的心情十分理解並感同身受，請放心將您的孩子託付給我。

理事長 阪本 晃子



| 完善的宿舍，充實的獎學金制度 | | |
|----------------|---------------|---------|
| 特等生 | 日語能力考試 N1 合格者 | 10 萬日元 |
| 獎學生 | 日語能力考試 N2 合格者 | 2 萬日元 |
| 全勤獎 | 3 個月出席全勤學生 | 6000 日元 |

OSAKA 大阪外語学院

info@osaka-gaigo.jp 06-6241-6677 http://osaka-gaigo.jp

優惠券

*凡報名一年以上日本語課程者 憑此優惠券可享有入學金

¥50,000 OFF

僑聯總會海外理事會移師日本 200人參加場面盛大



僑聯總會理事長鄭致毅致詞

【東京/綜合報導】華僑救國團聯合總會於10月15日舉行第17屆第4次海外理事會，此次理事會移師至日本舉行，由日本榮光聯誼會、橫濱台灣商會，以及僑聯總會日本分會主任周其德一同主辦，此次活動吸引海外各地僑胞踴躍前來日本參加，駐日副代表周學佑、橫濱辦事處處長張淑玲，以及旅居在關東地區的僑領僑胞約200人出席共襄盛舉。



日本榮光聯誼會理事長、橫濱台灣商會會長河道台致詞

僑聯總會理事長鄭致毅致詞時表示，國家環境越來越惡劣，駐外單位越來越辛苦，但我們的心是相同的，現在駐外單位很辛苦，很多是我們僑胞要幫忙，由我們來衝鋒陷陣，讓一切的榮耀歸於祖國，為了中華民國我們繼續努力。

主辦這次理事會的日本榮光聯誼會理事長、橫濱台灣商會會長河道台致詞時表示，今天很高興與全球的僑胞、理事們聚在一起，代表日本地區歡迎各位貴賓，雖然今天會場可能會覺得擁擠，但人多就是溫暖熱情，我希望未來全球的理事們為中華民國到世界各地去拼經濟，做為文化外交交流的橋樑。

駐日副代表周學佑表示，非常開心來自五大洲七大洋的朋友遠道而來，自己也有好朋友這次來到日本。祝福大家身體健康、事業成功，也祝福我們國家國運昌隆，並大喊中華民國萬歲，獲得現場熱烈的掌聲。

理事會的感恩及歡迎晚宴在莊海樹博士的帶領下正式開始，來自世界各地的僑胞齊聚一堂，讓場面顯得熱鬧滾滾，大家也利用難得的機會交流、聯繫感情等，除了理事會議外，僑聯總會也安排了一系列的旅遊行程，讓來自全球的理事們可以享受日本關東地區的風景美食，也讓大家一同在這次活動留下深刻回憶。



僑聯總會海外理事會移師日本

2023東京國際影視展 TIFFCOM 台灣影視作品精銳盡出



演員與SPO社長中田紀廣合照

【東京/採訪報導】2023東京國際影視展於10月25日至27日，在東京都產業貿易中心濱松町館熱鬧舉行。由文化部影視及流行音樂產業局、台灣電視劇製作產業聯合總會(TDPIF)攜手，率領全台灣54家影視產業公司共計超過百部以上的作品來日展出，獲得極大關注。

TDPIF也在26日下午舉辦「Taiwan Day」記者座談會，並邀請由三立電視與日本SPO公司聯手打造的兩部人氣耽美BL劇「免疫屏障」的主演洪暉哲、楊懿軒，以及「絕對佔領」的毛祁生、蕭鴻一齊登台，讓現場氣氛嗨到極點。

記者會上首先由TDPIF的會長林錫輝向大家致詞，他說這次台灣來日參展的規模史上最大，並且邀請這次訪日的各影視公司代表上台，大家一起留下紀念照。這次參展陣容非常堅強，據他了解一共有120部優秀作品來到這裡，也感謝駐日代表處與台灣文化中心在這次展中幫了很大的忙。

受邀出席觀禮的TIFFCOM CEO椎名保表示，這次是時隔4年TIFFCOM再度實體舉辦，事實上自己對能否成功舉辦一直很擔心，當他聽說林會長這次也會帶領許多優秀的台灣作品來參加時，真的非常開心。

同樣來到現場的駐日副代表周學佑說，台灣充滿了優質的文化，透過推動這些文化走向國際，也能形成國際上友台的氛圍。自己剛剛看了產業聯合總會的作品清單，覺得TDPIF製作的不僅是影視作品，而是帶給觀眾一種幸福與感動，期待接下來能更多看到優秀的台灣作品。

隨後舉行了四位演員的記者會，在自我介紹以及被問這次來東京宣傳有什麼感想時，四個演員都表示這是第一次為了工作來到日本，但還是趁著空閒時間好好體驗了日本的生活，日本的環境很舒服，能夠來到這裡，站到TIFFCOM的舞台上就像美夢成真一樣。

接下來，四位演員也各自向SPO娛樂的社長中田紀廣致贈紀念品。洪暉哲與楊懿軒贈送了象徵桃花朵朵開的桃木劍，而毛祁生與蕭鴻一則送了代表步步高升、歲歲平安的舞龍舞獅。活動的最後毛祁生也展露了一手流利的英文，向現場的外國記者與觀眾介紹了劇情，讓整場記者會劃下完美句點。

中華電信日本株式會社創立15週年 各界出席慶賀活動



【東京/綜合報導】中華電信於日本創立的「中華電信日本株式會社」為慶祝成立15週年，於10月26日在東京舉辦慶賀午宴，中華電信董事長郭水義專程趕來日本參加。此外，駐日副代表周學佑，日本台灣商會聯合總會會長錢鈔玲等一眾在日僑領也都受邀出席，場面非常盛大。

會場首先放映成立15週年的回顧影片，回憶中華電信在2008年正式於日本成立分公司以來的風風雨雨。任何事業從零發展都殊不容易，中華電信來到日本後積極開拓業務，不但與日

中華電信董事長郭水義表彰各地優秀員工本國電信業者建立良好合作，客戶開發上也努力與在台商等潛在客戶聯繫，終於開花結果。

日本分公司現任總經理張維蓮在影片中分享，日本分公司近年來業務運作穩定，規模也持續擴大，也拿到了日本電信通訊業特有的特定建築執照，可以成功轉型，非常感謝在這個過程中協助中華電信的每一位朋友。

董事長郭水義致詞時說，2008年成立日本分公司時，記得當時賀董事長推動了

「30策略」，分別是光纖策略、奧林匹克、海外市場，才有了如今日本分公司的重要成果。15年來日本分公司從副總經理策路藍縷，到發展成現在的規模，公司策略也轉變成提供全方位的資通訊服務，期待未來與各位客戶一起迎向更美好的未來。

中華電信前董事長賀陳旦致詞時表示，日本分公司能有今天的發展，已經超過了當初提議的策略，發展出了屬於自己的一套新方向。很高興與NTT、KDDI等日本合作夥伴持續開發新的服務與技術，也期待這些新的交流能在2025大阪博覽會成為產業發展的新焦點。

副代表周學佑致詞時表示，中華電信是台灣規模最大的電信業者，很高興看到中華電信在日本也取得了傲人的成績，更獲得了日本特殊的建築執照，解除了承接工程的金額上限，是重要的突破。如今台灣與日本的關係能這麼良好，都有賴於前人們種下的善緣，感謝前董事長賀陳旦等中華電信的領導層們在這當中的貢獻。

隨後，由董事長郭水義向日本分公司總經理張維蓮頒贈感謝狀與紀念品，並向各地區的優秀員工頒發感謝狀，感謝這段期間海外員工們的卓越貢獻。

台灣友好俱樂部於山口縣舉辦 台日交流演講懇親會



紀念合影

【山口/綜合報導】促進台日友好關係為宗旨之親善團體「台灣友好俱樂部」於本(10)月28日晚間在山口縣KAMEFUKU ON PLACE舉辦日台交流懇親會，並邀請前周南市長木村健一郎以「台灣を目標めさせた男 兒玉源太郎」



陳處長致詞

(暫譯:喚醒台灣的男人 兒玉源太郎)為題進行主題演講。出席貴賓包括駐福岡辦事處陳銘俊處長、山口縣國際交流協會專務理事高橋博史、九州台灣商會會長大倉仲洋、全國市長會前會長松浦正人、山口縣

華僑總會會長大倉睦子、山口大學名譽教授河津清及羽多野聖義、山口縣觀光連盟マネージャー細井寬和及前防府市土木都市建設部長金子正幸等各界人士。

陳銘俊處長致詞表示，日治時期，19位台灣總督中有5位出身山口縣，兒玉總督即為其一，任期長達八年之久，基隆港、台灣縱貫鐵路、公路、醫學校、師範學校、製糖等為其最耀眼之治績，對台灣現代化的貢獻最大。山口另有首相搖籃之稱。日本首位首相伊藤博文、岸信介、史上任期最長、最挺台的安倍晉三、任期第二長的桂太郎等皆出身於該縣。

陳處長也提到，近年來台灣與山口縣之關係顯著進展，2021年5月份台南市議會與山口縣議會締結為友好議會，今年7月份台南市與山口縣締結「觀光、物產、經濟交流協定」，這不僅對兩市之意義重大，更是台日友好的最佳見證。另適逢第10年的台日國際交流高峰會將於明年在台南市舉辦，此將進一步鞏固台日長久深厚友誼。

京都日台親善協會烤肉大會 60餘名臺人留學生參加反響熱烈



全體於龜岡市大堰川旁的「龜岡水邊公園」合照

【京都/採訪報導】10月21日，京都日台親善協會與嵯峨商店街，共同舉辦專為在台留學學生準備的「烤肉大會」，由該會會長小島裕史親自領團，帶領眾人前往京都府的龜岡市進行烤肉聯誼，並在去程途中特地安排大家搭乘觀光小火車欣賞美景，豐富的活動內容贏得眾人一致好評。本次參加活動的臺灣留學生共計60餘人，成員來源相當廣泛，包括大學、研究



京都日台親善協會會長小島裕史

所、專門學校及語言學校等在日高級院校的臺灣留學生都來參加，同時大阪辦事處張正陽課長亦借駐處同仁應邀出席並全程與會。

本次活動從嵯峨嵐山站出發，眾人先是在站前參加由嵯峨商店街舉辦的歡迎儀式後，隨即便搭上「嵯峨野觀光鐵道」的小火車，一行人浩浩蕩蕩地向目的地前進，

隨著列車穿梭峽谷之間，沿途山水秀麗無限，川岸兩側風光盡收眼底，令人目不暇給，更有舟楫操樂其中，與列車相遇時，雙方也不約而同向彼此揮手招呼，迴盪峽谷的喊聲和奮力十足的擺手，串連起鐵道和水道，兩條水平線間的情誼。

來到當日烤肉活動地點，是位於龜岡市大堰川旁的「龜岡水邊公園」，龜岡市市長桂川孝裕特地前來迎接，他表示近來在京都的臺灣留學生數量不斷增加，龜岡作為京都市近郊的好去處，相當歡迎大家前來。當地太鼓團體「千代川太鼓同好會」亦準備太鼓表演呈現給大家，精彩演出贏得在場眾人一致好評。

隨後眾所期待的烤肉正式開始，金風颯爽，龜岡水邊公園綠水環繞，舉目蒼翠，大家迫不及待地將各種食材放上烤架，滋滋作響的烤肉聲和誘人的香味瞬間瀰漫四周，令人食指大動，期間眾人有說有笑，一起享受著這難得的戶外烤肉，氣氛活絡熱鬧，直到了場地預定時間，才依依不捨地轉移腳步，進行當天最後的抽獎頒獎，而本次活動也就在抽獎中，順利圓滿畫下句點。

玉山法律相談所

團體與個人

三十六計、走為上

個人在團體中受到壓迫時，該如何求助？兵法中有：「三十六計，走為上」之言，筆者通常最優先考慮的是請受害人「離開」該團體。理由如下。

法律保障「結社」之自由。結社自由在法體系上的位階很高，採取民主立憲主義的國家幾乎全部以憲法直接保障到結社之自由(中華民國憲法14條、日本國憲法21條)。

中華民國憲法

第14條 人民有集會及結社之自由。

日本國憲法

第二十一條 集會、結社及言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保障する。

結社自由的主要意義，在於保障國家不干涉各個團體的內部事項。這其實也就是，各個團體的內部其實是可以運作的很荒唐的。最近日本媒體炒的很兇的(舊)統一教問題就是一例。(統一教的問題其實牽扯到日本憲法上的宗教自由，因此國家能干涉的範圍就更受限了。但即使統一教不是宗教法人，而只是一般社團法人的話，其實國家也同樣無法干預其內部事項。假設統一教的宗教法人已被解散，統一教的教友仍是以前另行將教團改組為「株式會社」、「一般社團法人」或「一般財團法人」等團體，而持續他們的活動，之後國家也還是無法干涉到他們內部的教義等問題。這也是結社自由的重要機能。)

假設個人因為自己的親屬加入了統一教，而希望筆者協助的話，此時當然最上策為「走」。不喜歡統一教的話就請離開。至於能不能說服該入信的親屬離開的話，純屬該入信者的自由意思。律師尊重個人的決定，如果該入信者不願離開統一教的話，當然該尊重其決定。

團體內部決定的暴走

假設A團體的理事會做了一個很難聽的決定，而該團體的理事B先生、或者只是該團體一般會員的C小姐希望律師幫忙，希望A團體不要這麼難聽的話，該怎麼辦？

基本上，因為各個團體都享有結社自由，因此法律通常無法干涉團體內部的決定事項。舉例來說，即使A團體無任何收支上的問題，其理事會卻決定會員的會費為每個月50萬日幣，這也只是A團體的內部事項。因為會費50萬一事，只影響到參加A團體的人士，並不影響到其他人，也無觸犯刑法等影響社會秩序的問題，因此法律無法干涉，也不該干涉。

簡而言之，因為結社是自由的，所以即使社團的內部開始暴走，只要不影響到外部的話，國家(法

律)是不會管的。

程序問題與賠償問題

不過，法律可以過問的是關於團體裡的「程序」(手續)上的問題，以及事後賠償的問題。例如，該由A團體的社員大會來決定的事項，理事會如果未召集社員大會而直接越權而決定了該事項的話，則該理事會的決定當然是無效的。或者，在召集社員大會或理事會時，如有無召集上的瑕疵的話(例如：忘了召集所有的理事會)，當然該理事會則不為合法的理事會，因此其決定無效。還有，在投票等表決時，有無欺瞞、惡意隱藏事實、或其他程序上的瑕疵(例如：B先生其實要投反對票，但理事長將B票算為贊成票)。如果有瑕疵的話，依其種類、影響程度等，或許可以提請請法院確認該決定無效、或是請法院判定相關人士的損害賠償責任。

最好的作法仍是「三十六計、走為上」

當然，B先生或C小姐如果不滿A團體的決定，只要離開A團體即可(退會)。這省時省力也省錢。律師即使想幫忙，也要在收到律師費並收集到有力證據之後才幫的忙，而且律師是團體裡面的人，因此B先生或C小姐要把團體裡面的事情說明到讓律師能理解的話一定還要花不少時間。總之，請律師幫忙的話是費時費力又花錢。

程序瑕疵的搜證不易

請法院確認團體的內部決定無效並不容易，不是靠口頭說明就可的。團體內部的定款、規約、規則書等可確認A團體程序規則的相關資料如果存在的話，需要事先確保。而且，至於程序瑕疵的相關事實(例如：召開理事會時未通知某某理事一事)也常需要確保相關的人證或物證(例如：應確認該位未被召集的理事不會見風轉舵等等)。

損害賠償只在發生實質損害時才足以檢討

基本上，因為法律保障個人退出A團體的自由，因此，除非存在特殊狀況(例如：退會時要交違約金等等)，否則通常只要單純退出A團體即可避免損害之發生。因此，該項難聽的決定事項為何造成B先生或C小姐等當事人的損害一事，通常也是需要費時費力又花錢才可能找到正確結論的。

結論

加入了團體之後如果對該團體有何不滿的話，希望各位讀者先考慮退出該團體的可能性。

(本文由玉山法律事務所提供)